



CSR報告書 2023

企業理念

企業理念	02
トップメッセージ	04
不二家のあゆみ	05

お客様とともに

品質管理体制	07
「不二家食品安全の日」について	09
お客様とのコミュニケーション	10

地域・社会とともに

地域コミュニケーション活動	12
他団体との連携	14
不二家ファミリー文化研究所	15

株主・投資家の皆様とともに

適時適切な情報開示／株式情報	16
株主優待制度	17

取引先とともに

持続可能な原材料調達のために	18
安全・安心な原材料調達・産地や取引先工場への訪問/ 原材料の安定供給のために	19
こだわりを持った原料の手配	20

従業員とともに

人材育成・人材活用	21
各種研修／福利厚生	22
ダイバーシティ	23
ワークスタイル／労使協力関係／健康経営	24
労働安全衛生	25
防災への取り組み	26
社内情報の共有	27

環境活動

環境方針／環境目標	28
TCFD／マネジメント体制	29
事業活動のマテリアルバランス	30
地球温暖化防止への取り組み	31
食品ロス・廃棄物削減への取り組み	33
環境負荷低減への取り組み	34
各事業所における環境保全活動	35
不二家ファミリー文化研究所の活動	36

経営マネジメント

コーポレート・ガバナンスと内部統制	37
リスクマネジメント	38
コンプライアンス	39
会社概要	40



編集方針

不二家では、「お客様」、「地域・社会」、「株主・投資家」、「お取引先」、「従業員」、「環境」の関わりについて、より多くの方にご報告することが、当社の果たすべきCSR(企業の社会的責任)であると考えています。2003年から環境報告書として、また2008年からはCSR報告書として毎年発行し、テーマごとに取り組み内容を報告してきました。

本報告書では、すべてのステークホルダーに当社の活動をご理解いただくことを目的に「食の安全」はもとより、「環境対応」、「地域貢献活動」、「ガバナンス強化」、「コンプライアンス」など、具体的な取り組みについて報告しています。

● 報告対象範囲

本報告書では原則として不二家単体を報告対象範囲としています。

● 報告対象期間

2022年1月～2022年12月

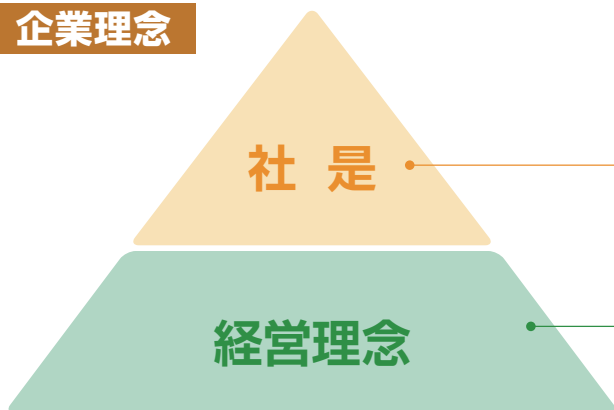
※一部、当該期間外における取り組みが含まれています。

● 発行年月

2023年6月

企業理念

企業理念



愛と誠心と感謝をこめて
お客様に愛される不二家になります

常により良い商品と最善のサービス
(ベストクオリティ・ベストサービス)を通じて、
お客様ご家族に、おいしさ、楽しさ、満足を提供する

ビジョン 世界のすべてのお客様に愛される
企業を目指す

ミッション すべてを、「おかあさんの気持ち」で
「ベストクオリティ・ベストサービス」を
提供します

ファミリーマーク

1961年に、アルファベットの「F」に楕円と花びらを組み合わせた不二家の企業マーク『ファミリーマーク(Fマーク)』が誕生しました。この『ファミリーマーク(Fマーク)』の「F」は「FUJIYA」のFであるとともに、5つの意味も表現しています。

20世紀を代表する産業デザイナーであるレイモンド・ローウィ氏がデザインを手掛け、全国どこでも一目見て不二家とわかるような特長的なファミリーマークは、誕生から数十年を経た現代においても、多くの不二家の製品や店舗のデザインを飾っています。

- amiliar ~親しみやすい~
- lower ~花のような~
- antasy ~夢~
- resh ~新鮮なアイデアに満ちた~
- ancy ~高級な品質~



ステークホルダー

不二家は、ステークホルダーの権利・立場や企業倫理を尊重する企業風土を醸成し、ステークホルダーとの健全な協働関係を構築することを目指しています。

SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)とは、2015年に国連が定めた持続的な開発に関する17の目標と169のターゲットのことで、国際社会共通の目標です。2030年までに貧困や飢餓、働きがいや経済成長、気候変動対策などの世界が抱える問題を解決するために、各国政府だけではなく、民間企業も日々の活動を通して取り組んでいくことが求められています。ここではステークホルダーに関わる当社の取り組みのアイコンを掲載しています。



①お客様に対して

品質にこだわり、技術を磨き、チャレンジ精神をもって、最高の商品と最善のサービスを提供しています。職場環境は常に清潔を保ち、商品の安全確保のため一切の妥協を許さず、商品及びサービスに対するお客様のクレームをゼロにする運動を推進しています。



②地域社会に対して

良き企業市民として、健全な企業活動により収益を確保し、税金を公平に負担し、地域社会の発展に寄与しています。また、社会貢献活動に積極的に関与し、地域社会の子どもたちが健やかに育ち、ご家族の絆が深まるように活動しています。



③環境に対して

「環境基本理念」及び「環境基本方針」にもとづき、低炭素社会、循環型社会の実現に寄与する「地球にやさしい企業」を目指し、活動しています。



④株主・投資家に対して

全ての株主の権利及び平等性を実質的に確保し、健全な企業経営を推進することで企業価値を高め、利益を適正に還元することで受託者責任を果たし、株主との長期的な信頼関係の構築を図っています。

⑤取引先に対して

取引先に不当な要求はしない、取引先の不当な要求に屈しない。取引は常に公平かつ公正で、その内容は、顧客の創造、産業界の発展に寄与するものであることを目指しています。



⑥従業員に対して

一人ひとりを個人として尊重し、従業員の提案活動を歓迎する気風を醸成し、風通しの良い組織運営を推進しています。また、従業員の健康に配慮し、労働災害の撲滅を目指しています。さらに、平等な機会を保障し、公正な待遇を実現し、従業員が家族に対する責任を十分果たすことができるよう配慮しています。



トップメッセージ



代表取締役会長
山田 憲典



代表取締役社長
河村 宣行

当社は、1910年に横浜元町で小さな洋菓子屋として創業してから113年、長きにわたりお客様とともに時代の変化のなかを歩んでまいりました。

現在の不二家グループは、洋菓子、製菓、外食、飲料などの事業を中心に、国内はもとより海外にも展開しております。事業領域がどのように広がろうとも、私たちの根柢にある想いのお客様へ「安全、安心な商品を提供する」ことです。そのために、FSSC22000、ISO22000、あるいはHACCPやAIB フードセーフティなどのシステムを活用した食品安全衛生管理を着実に実行しながら、「クレームゼロ」を目標に取り組んでおります。

そして近年、サステナビリティ（持続可能性）が世界の共通認識となり、社会人のみならず義務教育へのSDGs 関連の授業導入や、エシカル消費の浸透など学生や消費者の皆様にもより身近なものになってきました。加えて、新型コロナウイルスの蔓延や原材料価格、エネルギー価格の高騰など、当社を取りまく事業環境も大きな変化がございました。そのような中、“環境、社会、経済”の3点において、バランスの取れた持続可能な事業活動を行い、長期的な企業価値を創造していく必要があると考えています。CO₂排出量の削減、食品リサイクル率の向上などの活動を通して、環境保全や資源の有効活用に真摯に向き合い、社会の共通課題について企業責任を果たしてまいります。

また、私たちの事業が継続的に発展し、社会的な責任を果たしていくためには、従業員一人ひとりの意識と成長が必要です。当社では、性別、年齢、国籍、雇用形態、障がい等にとらわれないダイバーシティを推進するとともに、働き方改革、従業員教育、労働災害の撲滅などに取り組んでいます。今後も、“人材”への積極的な投資を通じて個々の能力や技術を向上させるべく、人的資本経営に力を入れていきます。そして、ペコちゃんに象徴される笑顔溢れる従業員の活動を通じて地域・社会との交流を深めることで、世界のすべてのお客様に愛される企業でありつづけることが、長期的な企業価値向上につながると考えています。


当社は、環境負荷低減に向けた対応をはじめ、ガバナンス強化、コンプライアンス及びリスク管理の徹底など、ESGの観点に配慮した取り組みを行い、サステナビリティ経営を推進していきます。

本報告書を通じて、当社の取り組みやその活動内容についてご理解いただくとともに、ご意見やご感想などをいただければ幸いです。

不二家のあゆみ

- 1910年 藤井林右衛門が横浜元町に洋菓子店を開店
- 1922年 ショートケーキ発売
- 1930年 合名会社不二家設立(出資金10万円)
- 1935年 ハートチョコレート発売
- 1938年 6月 株式会社第二不二家設立(資本金20万円)
9月 合名会社不二家を合併(資本金60万円)
12月 株式会社第二不二家の商号を、株式会社不二家と改称
- 1950年 「ペコちゃん」誕生
- 1951年 ミルキー発売
「ペコちゃん」のボーイフレンドとして「ポコちゃん」誕生
- 1954年 ポップキャンディ発売
- 1962年 東京、大阪、名古屋の各証券取引所市場第二部に株式上場
ルックチョコレート発売
不二家乳業株式会社設立
- 1963年 フランチャイズ第1号店 京都伏見店開店
- 1964年 ネクター発売
- 1965年 東京、大阪、名古屋の各証券取引市場第一部に株式上場
- 1968年 ホームパイ発売
- 1972年 株式会社不二家東北(旧:山交フードサービス)設立
- 1973年 株式会社不二家システムセンター設立
- 1974年 不二家サンヨー株式会社設立
- 1975年 レモンスカッシュ発売
- 1978年 株式会社不二家フードサービス(旧:ロードサイドレストラン)設立
- 1984年 カントリーマアム発売

1910年



©新関コレクション

1922年



※昭和30年代のショートケーキ

1950年



1951年



1954年



1962年




1963年



1964年



1968年



1975年



1984年



1989年

アンパンマン商品シリーズ発売
株式会社ダロワイヨジャパン設立

1994年

ペコちゃんのほっぺ発売
不二家テクノ株式会社設立

1998年

「ペコちゃん」「ポコちゃん」の人形が立体商標として
特許庁より認められる

1999年

ミニミニペコちゃん発売

2003年

不二家ファミリー文化研究所設立

2004年

不二家(杭州)食品有限公司設立

2007年

1月 消費期限切れ原料使用に端を発する一連の問題により、
生産・販売がほぼ停止する
2月 AIBフードセーフティの取り組み開始
3月 山崎製パン株式会社と業務資本提携を締結し、
停止していた生産・販売が再開される

2008年

1月 「不二家食品安全の日」制定
7月 本店所在地を東京都文京区に変更する
11月 新たな第三者割当増資により、山崎製パン株式会社の
子会社となる

2010年

不二家創業100周年

2014年

株式会社スイートガーデンの株式を取得(子会社化)

2018年

銀座数寄屋橋の不二家広告塔を映像が流れる
「ペコちゃんビジョン」にリニューアル

2019年

不二家サンヨー株式会社が不二家飲料果実株式会社へ
社名変更

2020年

カントリーマアムチョコまみれ発売
ルック3(ホワイトラバース)発売

2021年

ミルクィー発売70周年
株式会社スイートガーデンが株式会社不二家神戸へ社名変更
株式会社不二家フードサービスを吸収合併
株式会社不二家東北を吸収合併

2022年

ショートケーキ発売100周年企画「ショートケーキ12の物語」を
実施し、毎月限定商品を発売
東証一部からプライム市場へ移行
不二家飲料果実株式会社が株式会社不二家福島へ社名変更
不二家ベトナム設立
ルック(ミルクパレード)発売
ホームパイチョコだらけ発売

1989年

©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV



1994年

1998年



2007年



2008年



2020年

2022年



2021年



お客様とともに



品質管理体制

お客様と不二家の信頼関係は、商品のおいしさと同時に、安全な品質の上に成り立っていると考えます。

商品のおいしさを追求するとともに、お客様に安心してお召し上がりいただける商品を提供する努力を、企業活動の最優先課題として取り組んでいます。

〈食品安全品質方針〉

- (1) 当社のお客様に満足いただける、安全で品質のよい商品とサービスを提供します。
 - (2) 関連法規を守り、安全・安心な食品安全マネジメントシステムを確立し、運用します。
 - (3) 食品安全マネジメントシステムの有効性を担保するため、継続的な改善を行います。
 - (4) 食品安全教育を徹底し、食品安全意識の向上及び食品事故の発生防止に努めます。
 - (5) 風通しのよい企業風土を作り、社内及び外部関係者との積極的なコミュニケーションを図ります。
- 食品安全品質方針の達成のため、各部門の目標を設定し、レビューするとともに、全体に周知徹底します。

2019年3月26日

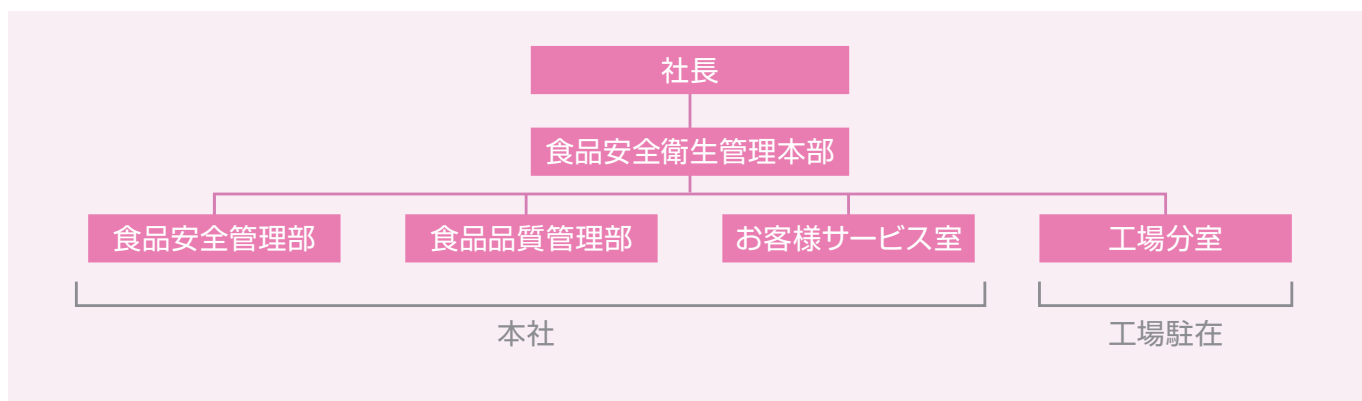
株式会社 不二家 代表取締役社長 河村 宣行

不二家は、社長直轄の組織である食品安全衛生管理本部を中心に、常にお客様の視点に立ち、さらなる満足をご提供するため、食品安全品質方針にもとづき全ての部門において安全・安心な商品作りに取り組んでいます。

食品安全衛生管理本部は、従業員に対し食品衛生に関する正しい情報や手法を提供することによって、お客様に満足していただける安全な商品をお届けすることを使命としています。

「食品安全管理部」、「食品品質管理部」、「お客様サービス室」の3部門体制のもと、組織強化を図っており、また、各工場に食品安全衛生管理本部の組織として分室を設置し、業務の独立性を高め、チェック機能を強化しています。

〈食品安全衛生管理本部組織図〉



AIB フードセーフティへの取り組み

不二家では2007年2月よりAIBフードセーフティの取り組みを開始し、現在では洋菓子製造6工場、菓子製造3工場のすべての工場及びレストラン店舗にまで取り組みを拡大しています。AIBフードセーフティとは原材料の入荷から製品出荷までの安全性を確保するために100項目以上の要求事項が記載された「AIB国際検査統合基準」に則って、食品安全衛生管理を有効に機能させるために行う活動です。

①清掃活動

マスタークリーニングスケジュール(清掃計画)を作成し、清掃手順にもとづいて製品に触れる箇所から生産機械の内部まで徹底的に清掃を行っています。

②有害生物管理

有害生物(そ族、昆虫類)に対して、毎月のモニタリングや週1回の点検をもとに食品への汚染をなくすべく対策を実施しています。

③アレルギー管理

アレルギーが含まれる原料については、保管場所の分けや生産器具の使い分けなどの厳しい管理を行うことで、アレルギーが含まれていない製品への混入を防いでいます。

④フードディフェンス(食品防衛)

各工場では食品テロが起こることを想定し、管理体制に不備はないかを定期的に見直すことで、お客様の安全・従業員の生活・商品ブランドの価値を守っています。

⑤自主検査

各工場において毎月、「AIB国際検査統合基準」に適合しているか確認する自主検査を実施しています。自主検査によって抽出された不適合箇所は、月1回開催する「食品安全衛生委員会」で改善進捗確認され、工場内の一般衛生管理レベルを向上させています。

アレルギー管理の事例



食品安全マネジメントシステム及びHACCPの取り組み

不二家では、食品安全管理体制のさらなる強化を目的として、製造工場を中心に第三者機関による食品安全の認証であるISO22000、FSSC22000及びJFS-Bを取得しています。

洋菓子店舗とレストランでは「HACCPの考え方にもとづいた衛生管理計画」を遵守し、日々徹底した衛生管理を行っています。

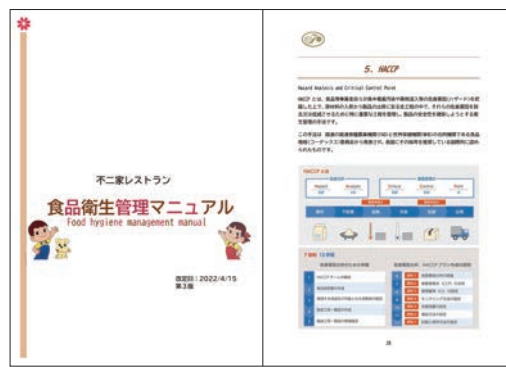
今後も、食品安全マネジメントシステム及びHACCPの活動を軸に、お客様に安全・安心な商品をお届けできるよう努めていきます。



▲FSSC22000外部審査の様子



▲使用禁止備品ポスター



▲レストランHACCP対応マニュアル

「不二家食品安全の日」について

2007年1月、期限切れ原料使用に端を発した一連の問題が起きたことから、1月11日を「不二家食品安全の日」と定め毎年1月に教育を実施しています。この日は、過去の歴史と向き合い、「二度と起こしてはいけない」という思いを従業員一人ひとりが再認識し、決意を新たにする日です。この16年で社員の平均年齢は大きく若返り、一連の問題を経験していない社員が多くなりました。これからもさらに増えていく中で、「この問題を風化させないために、自分は今何をすべきか考える」ことを目的とした「教育」を行なっています。

2023年の「不二家食品安全の日」の教育は、1月26日にコロナ禍のなか生産工場を中心に各会場をオンラインでつなぎ実施しました。また、リアルタイムで参加できなかった従業員に対しては動画配信にて実施しました。

「3部構成による教育内容」

1

行政から指摘された問題点と改善策、ルールを守ることの重要性について説明

2

2011年に作られた冊子「後輩たちに語り継ぐ体験談集」から2007年当時のリアルな体験談を朗読とスライドで紹介

3

FSSC22000とAIBを組み合わせた衛生管理手法、緊急事態に備えた組織体制と訓練の紹介

この教育を通し、今自分の立場ですべきことを考え、回答する形式で実施しました。当時の事実を客観的に把握し、実際対応に当たった従業員の話を聞くことによって、経験していない従業員もより現実的に捉えることが出来ると考えています。

一連の問題は「工場で起こったこと」ですが、今後は「どこでも起こり得るリスクを持っている」と認識し、工場・営業・店舗・本部の垣根を越えた相互理解のもと、従業員一同「食の安全」への取り組みをさらに強化、継承してまいります。



▲河村社長の講話



▲オンラインで会場をつなぎ開催

受講後の回答を一部抜粋

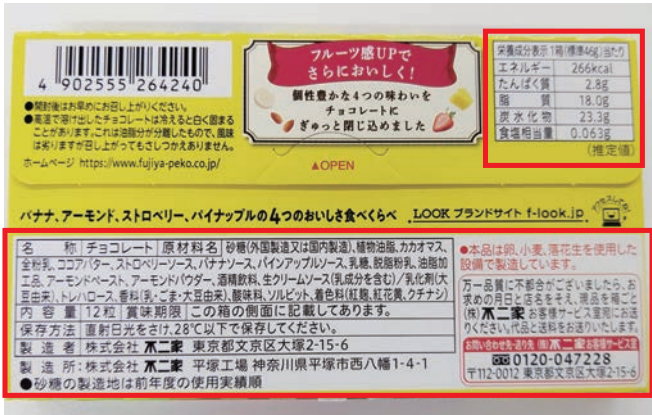
- ・ルールや仕組みは作るだけでなく、しっかり守ることを習慣にしないといけないと思いました。個人個人の認識が重要になるので、なぜそのルールができたのかまでしっかり教育する必要があると改めて理解しました。
- ・社内のルールや法律があったとしても認識していないとまた同じことが起きてしまうため、この教育は毎年必要だと感じました。社員、パートなど関係なく、不二家で働く人として同じ認識で業務に取り組む必要があると思います。
- ・今回の教育でもあったように、当時を知らない世代に向けて経験した者が語り継いでいく事は大切だと思います。

お客様とのコミュニケーション

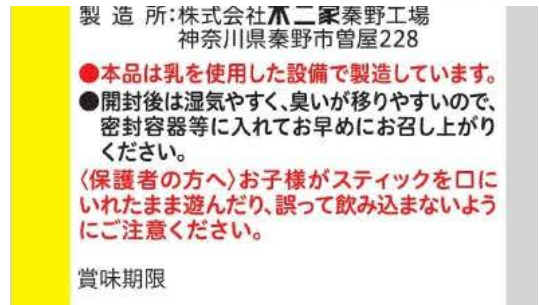
商品のパッケージについて

食品表示法や景品表示法等の法令遵守を前提として、商品のイメージや原材料、アレルギー情報、栄養成分等の表示について見やすくわかりやすく誤認を与えないよう心がけています。また、お客様が召し上がることの多い商品では、食べ方についてのイラストや保護者の方へ向けた注意文を載せる等、商品を安全においしく召し上がっていただけるように日々努めています。

そのほかにも、商品のアレンジレシピを紹介する等、お客様が楽しめる工夫もしています。



▲原材料、アレルギー情報、栄養成分等の表示



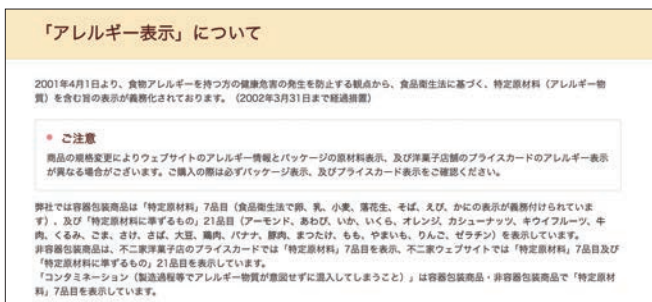
▲保護者の方への注意文(棒付きキャンディの例)

アレルギー表示について

商品パッケージには、アレルゲンを含む原材料がわかるように、原材料別にアレルゲンを個別表示しています(一部商品を除く)。アレルゲンのコンタミネーションについては、文字の色や大きさを変える等、一目でわかる表示作りに取り組んでいます。

洋菓子店舗で販売しているパッケージの無いケーキ等は、価格や商品名を記載しているプライスカードにアレルギー情報を表示しています。特定原材料の使用やコンタミネーションの有無を「○」や「△」を使い、どなたにもわかりやすいデザインを施しています。

また、Webサイト上にも商品別にアレルギー情報を掲載し、お客様が安心して商品を選択できるよう努めています。



▲Webサイトでの情報掲載



▲プライスカードの表示例



▲各商品ページでアレルギー情報を掲載

お客様への情報発信

不二家ウェブサイトでは商品情報、店舗情報など、お客様が必要とされる情報を積極的に発信しています。お客様に安全な商品をお届けするための「不二家の取り組み」や、お客様から多く寄せられる質問を回答とともに掲載する「お客様窓口」など、コンテンツを充実させ、積極的な情報発信を行っています。

今後も最新の情報をお客様にお届けできるよう努めていきます。



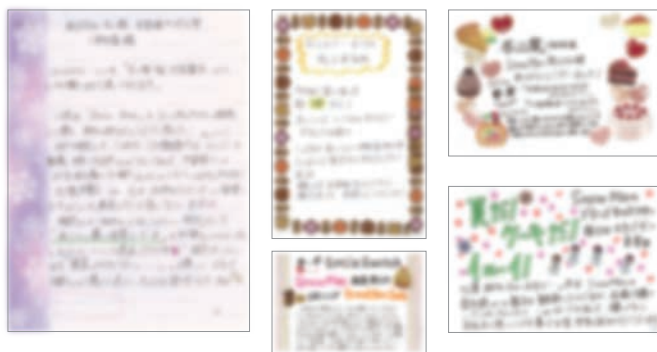
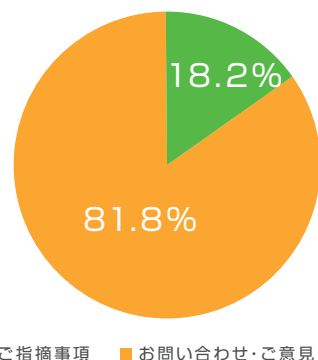
お客様からいただいた声

2022年1月から12月までの1年間に、お客様から15,239件のお問い合わせやご意見、ご指摘をいただきました。その内訳は、12,461件(81.8%)がお問い合わせ・ご意見であり、2,778件(18.2%)がご指摘事項(クレーム)でした。

お問い合わせ・ご意見のうち56.3%が商品内容や商品の販売店、洋菓子店舗やレストランの営業についてのお問い合わせで、それ以外は商品の特性(7.6%)、キャンペーンについて(6.5%)、不二家や商品ファンの方のご意見(6.1%)、アレルギー情報など商品の安全性(5.4%)等でした。

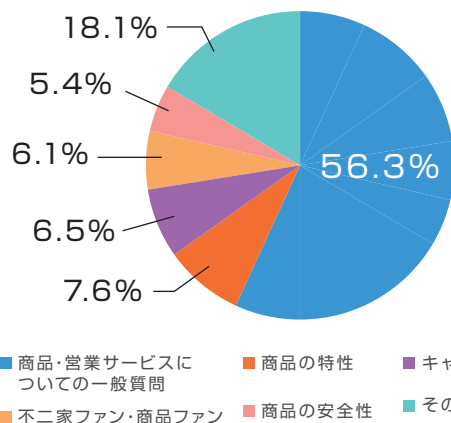
商品の情報や特性(栄養成分、原材料など)については商品ページに掲載することで、お客様が必要とする情報にアクセスしやすいよう努めています(洋菓子やレストランメニュー等一部を除く)。

2022年1年間にお客様からいただいた声(15,239件)



▲お客様からいただいたお手紙(画像はぼかし処理をしております)

お問い合わせ・ご意見の内訳(12,461件)



お客様の声を商品やサービスに活かして

お客様からいただいたご意見について、関係部門に共有し、対応可能な内容については商品やサービスに反映させています。

過去の反映例

お客様からのご意見・質問



みかん味のひとくちフルーツゼリーに白い粒々が見えますが、食べても大丈夫ですか？

対応

「みかん味に白い粒々のようなものが見えることがありますが、これはみかん果汁由来のもので、パッケージに説明を追加することで、お客様のお召し上がりの際の参考になるようにしました(白い粒はヘスペリジンというポリフェノール的一种で、柑橘類などに多く含まれています)。



地域コミュニケーション活動

『ゴールドリボンキャンペーン』へ協力

早稲田大学ビジネススクール(WBS)と特定非営利活動法人がんネットジャパン(CNJ)が取り組む、小児がん啓発活動に不二家が協力しました。9月は『世界小児がん啓発月間』であり、期間中の2022年9月15日(木)～30日(金)の間、一部店舗にて店頭ペコちゃん人形と従業員が小児がん啓発リボンである「ゴールドリボン」ピンバッジを付け啓発活動をする「ペコちゃんゴールドリボンキャンペーン」を実施しました。



◀「ゴールドリボン」ピンバッジを付けたペコちゃん

『こどもフードアライアンス』事業への参画

株式会社日本アクセス(以下:日本アクセス)と、こども宅食事業を行う認定NPO法人フローレンス(以下:フローレンス)が、2022年1月より開始した『こどもフードアライアンス』事業に参画しました。『こどもフードアライアンス』とは、全国最大の食品ネットワークを有する日本アクセスと、全国の困窮家庭の支援者ネットワーク(こども宅食応援団)を有するフローレンスで実現する「企業と地域団体をつないで食品を子育て家庭に届ける」ための事業です。

お菓子を通じ「家族の絆づくりの応援」をしたいとの考えから本事業趣旨に賛同し、第2弾となる10月からの取り組みにて「カントリーマアムチョコまみれミドルパック」を提供しました。



▲カントリーマアムチョコまみれミドルパック



第10回『ペコちゃんキッズアカデミー』開催

2022年10月不二家ファミリー文化研究所が主催する『ペコちゃんキッズアカデミー』をオンラインで初開催しました。コロナ禍により、2019年以降活動を休止していましたが、今回はWEBを活用した新たな試みです。

当日は抽選で選ばれた10組29名を対象に、『ミルクィーの製造工程紹介』『ミルクィーに関するクイズ』『お菓子かばん製作』を行い、参加されたお子さまご家族からは好評のお声を多くいただきました。2023年はさらに活動の幅を広げていく予定です。



▲『お菓子かばん』完成後の記念撮影

『こども宅食』事業

子どもの貧困を解決するために東京都文京区とNPO法人などの6つの団体が協働しスタートした「こども宅食」に、継続的に協力をしています。「こども宅食」は経済的に困窮している子育て世帯に食品を無償で届けることをきっかけに見守り、必要な支援につなげ、地域や社会からの孤立を防ぐことを目的としたプロジェクトです。2022年は、年6回の定期配送が実施され「カントリーマアム」「ホームパイ」「ミルクィー」などのお菓子を寄付しました。継続的な支援活動が評価され、「文京区こども宅食2022年度事業報告会」にて感謝状を頂戴しました。今後も、不二家のお菓子を通じ、社会の担い手となる子どもたちの未来を応援していきます。



▲各ご家庭への梱包作業



『養育家庭(里親)制度』普及啓発への協力

東京都には、親の病気や虐待などのさまざまな理由によって、親と一緒に暮らすことのできない子どもが、約4,000人います。そのような子どもを家庭に迎え入れて、家庭的な環境で育てているのが「里親」です。不二家は、より多くの方に里親制度について知ってもらいたいとの思いに賛同し、東京都の『養育家庭(里親)制度』の普及啓発活動に協力しています。

今回は東京都里親制度普及啓発キャラクターの「さとべん」と「ペコちゃん」が載った「ポストカード」を作成し、2022年4月末～5月まで、都内にある不二家洋菓子店と不二家レストランの合計21店舗に設置しました。今後は、定期的な相談会やイベント会場での配布を行っていく予定です。「さとべん」とともに、普及啓発を応援していきます。



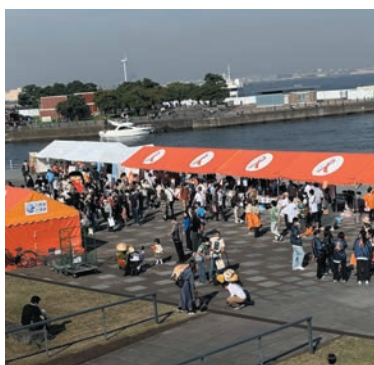
▲『養育家庭(里親)制度』を啓発するポストカード

『児童虐待防止』啓発活動への継続的な協力

2020年から神奈川県児童相談所と連携し、体罰未然防止普及啓発活動に協力しています。さまざまな普及活動により、大人だけでなく子どもにも体罰未然防止の認識を広げ、子どもが安心して生活できる環境を作ることを目的としています。2022年は子ども虐待防止のシンボルマークである「オレンジリボン」をたすきに見立てリレーをすることで、子どもの虐待防止を啓発する『オレンジリボンたすきリレー2022』が10月に開催され、会場でペコちゃん、ポコちゃんが登場するクリアファイルの配布とPR動画の公開をしました。今後も児童虐待防止への啓発活動に協力していきます。



▲クリアファイル



▲オレンジリボンたすきリレー2022

横浜こどもホスピス

認定NPO法人横浜こどもホスピスプロジェクトが運営する、生命に関わる病気や状況で治療や療養生活を送るお子さまとご家族の「家族の時間」を支え、地域とのつながりを育むコミュニティ型の通所施設「こどもホスピス」「うみとそらのおうち」(神奈川県横浜市)が、2021年11月に開設され、不二家は本施設の開設意義に賛同し継続的に支援しています。

2022年4月に開催された『こどもホスピスチャリティーフェスティバル in YOKOHAMA 2022』や、12月のクリスマス期間中に本施設をご利用されたお子様ご家族に、クリスマスプレゼントとしてお菓子を提供しました。今後も、大切な「家族の時間」に寄り添い協力していきます。



▲クリスマス会の様子

『第3回ペコちゃんはじめの将棋教室』開催

コロナ禍により、2019年の開催以降中止していた不二家と日本将棋連盟のコラボイベント「ペコちゃんはじめの将棋教室」を、2022年8月に開催しました。第3回となる今回は、1日3回行い合計56組112名のお子さまご家族が参加されました。講師役をつとめる棋士の方々と対局体験や、ペコちゃんとの写真撮影などを通じ、親子のコミュニケーションの場や将棋の基礎知識を学ぶ機会となりました。



▲会場の様子

『第15回スイーツ甲子園』への協賛

2021年より協賛している、高校生パティシエの頂点を決める大会『スイーツ甲子園高校生パティシエNO.1決定戦』の第15回決勝大会が2022年9月に開催されました。この大会は、さまざまな食材に触れ作品を完成させる過程のなかで質の高い学びを提供することに加え、審査段階では食材の有効活用やロスの削減に対する姿勢をチェックするなど、スイーツ業界における社会課題解決も目指しています。

協賛企業として不二家とコラボスイーツが発売できる『ペコちゃん賞』を用意し、受賞したおかやま山陽高等学校のチーム「Merci(メルシー)」とコラボ商品を発売しました。



▲『ペコちゃん賞』を受賞したおかやま山陽高等学校

こども霞が関見学デー

夏休みに、親子の触れ合いを深めながら広く社会を知ることが目的に、霞が関の各府省庁が連携して毎年開催される『こども霞が関見学デー』に参加しています。昨年に引き続き、2022年度もオンラインイベントとして開催され、不二家は農林水産省『食品企業のお仕事を見たり、体験したりしてみよう！～フード・コミュニケーション・プロジェクト～』に参加し、「ミルクができるまで」「ルックができるまで」を公開しました。

他団体との連携

チャイルド・スポンサーシップへの参加

2020年より、特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン(WVJ)※の活動の一環である「チャイルド・スポンサーシップ」に参加しています。この活動は、途上国の子どもの健やかや成長のために、子どもを取り巻く環境を改善する長期的な支援を行い、子どもたちと地域の人々が“未来を切り拓く力”をつけられるように支えるものです。不二家はこの活動を通じて子ども達を支援しています。

※子どもたちとその家族、そして彼らが暮らす地域社会とともに、貧困や紛争、自然災害等のために困難な状況で生きる子どもたちを支える活動を行う、世界最大規模の国際NGOです。その日本組織として、設立されたのがワールド・ビジョン・ジャパンです。

吉祥寺ハロウィンフィスティバル

2022年10月に『吉祥寺ハロウィンフェスタ2022』が開催され、仮装した子ども達のパレードや協力店舗を巡るお菓子ラリーへの参加者向けにお菓子を提出し、イベントを盛り上げました。今年もリアルとオンライン開催のハイブリット形式が採用され、洋菓子事業部からも「FUJIYA Heart Collection 吉祥寺」がお菓子ラリーの協力店舗として参加しています。



▲チャイルドスポンサーシップの取り組み(水衛生)
(写真提供:特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン)

第33回ヤマザキ「ラブ・ローフ」募金への協力

「食べ物や水がなくて苦しんでいる、世界の子どもたちを助けたい」思いから公益財団法人国際開発救援財団(FIDR)と特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン(WVJ)が共催し実施しているヤマザキ「ラブ・ローフ」募金に、協力しています。全国の洋菓子店やレストランを中心に、本社、菓子事業本部の各営業支店、関連会社などに募金箱を設置し、全社的な取り組みとして実施しています。



▲洋菓子店舗での取り組み

不二家ファミリー文化研究所

不二家ファミリー文化研究所とは

不二家ファミリー文化研究所は、私たち不二家の「もっともっとファミリーの幸せに貢献していくためには何が出来るだろう?」という想いから2003年4月に誕生しました。

テーマは「伝えていきたい自然 伝えていきたい家族の絆」。

自然から生み出される食材を扱う私たちにとって、言うまでもなく大切な「自然」を守っていくこと。そして、「ファミリーの不二家」という理念のもと、お菓子を通じて家族の幸せな時間を作るお手伝いをしてきたこと。それらのことを、今後も具体的に行動し伝えていくための研究所です。

ウェブサイト「ペコちゃんの森」

不二家ファミリー文化研究所の設立とともに、ウェブサイト「ペコちゃんの森」を立ち上げています。

ウェブサイト「ペコちゃんの森」は、毎月25日に定期更新を行い、不二家ファミリー文化研究所が行うさまざまな活動を、楽しみながらご覧いただけるご報告の場になっています。また、お客様とのコミュニケーションの場としても活用しています。

活動内容

不二家ファミリー文化研究所は、「家族について考え、絆を深めていただけるきっかけ作りのお手伝い」や、「次世代に残していきたい自然や文化についての知識を、私たち自身が深め、伝える活動」「お菓子に対する興味喚起や情報の提供」などを行っています。

具体的な活動として、ウェブサイト「ペコちゃんの森」の運営や、長野県黒姫にある「ペコちゃんの森」の整備活動への参加、「食育」や「自然」、「家族の絆」をテーマにしたイベントの企画、運営及び支援をしています。



ウェブサイト「ペコちゃんの森」コンテンツ

(<https://www.fujiya-peko.co.jp/mori/>)

◆ 親子イベントなどの公募

「食育」「自然」「家族の絆」などをテーマにしたイベントの紹介や参加募集の告知、全国の児童施設を訪問している「ペコちゃんが行く! 不二家キャラバン隊」の訪問先募集の告知などを行っています。

※オンラインイベントに関しては新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、2022年は活動を休止

◆ 「スマイル」をテーマにした川柳の募集

家族の絆を感じる出来事、笑顔になる家族とのエピソード、家族に起こった面白いハプニングなどをテーマにした川柳を募集しています。

◆ 世界の文化についてのご紹介

「ERIKO&ペコちゃんの旅」では、モデル・定住旅行家のERIKOさんが、世界のさまざまな国・地域で、現地の人々の家庭で暮らし、その食文化や、生活習慣、季節のイベントや誕生日などのお祝いについて、ペコちゃんと一緒に、写真を交えて紹介しています。

このほかにも、パソコンやスマートフォンでご利用いただけるペコちゃんの「壁紙カレンダー」の無料配信や、不二家ファミリー文化研究所が参加したイベントのご報告、黒姫のペコちゃんの森の様子なども、随時ご紹介しています。

◆ アンケート調査の実施

「家族」や「夫婦」、「日本の文化」など、さまざまなテーマを基にアンケート調査を実施し、調査結果を毎月ご紹介しています。



株主・投資家の皆様とともに

適時適切な情報開示

持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に向けて、社長自ら出席する決算記者会見の実施や機関投資家、アナリストとの対話など積極的に行なっています。

また、決算短信、有価証券報告書、四半期報告書、コーポレート・ガバナンス報告書など、当社ウェブサイトに掲載しています。さらに、一般株主様向けに内容をわかりやすくまとめた「報告書」の掲載など、適時適切な情報開示を行い、株主・投資家の皆様に正確な会社情報をお伝えしています。

報告書

3月と9月の年2回、株主の皆様へ報告書をお届けしています。セグメント毎の事業活動や新商品情報、概況などに加え、CSRの取り組みなどを掲載し、冊子とウェブサイトにて情報発信しています。



ウェブサイト

IR関連ニュースによる情報発信や財務ハイライトページなど、各種IR情報を充実させるとともに、より見やすく、わかりやすい情報を提供するためにウェブサイトの内容を適時見直し、リニューアルをしています。

<https://www.fujiya-peko.co.jp/company/ir/>



株式情報

株式の状況

株主数	46,326名	
株式数※	発行可能株式総数	40,000,000株
	発行済株式の総数	25,776,057株
	単元株式数	100株

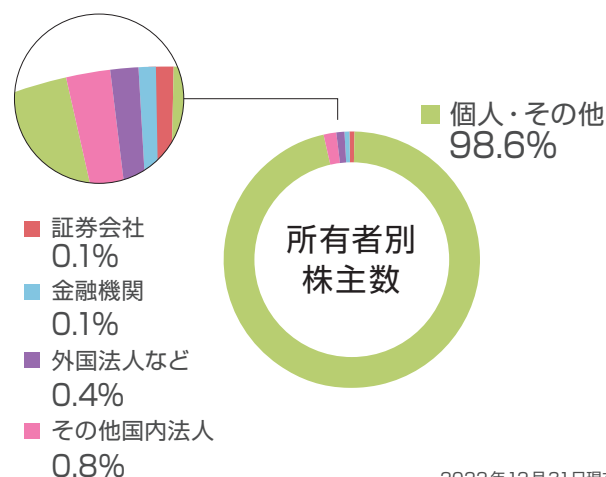
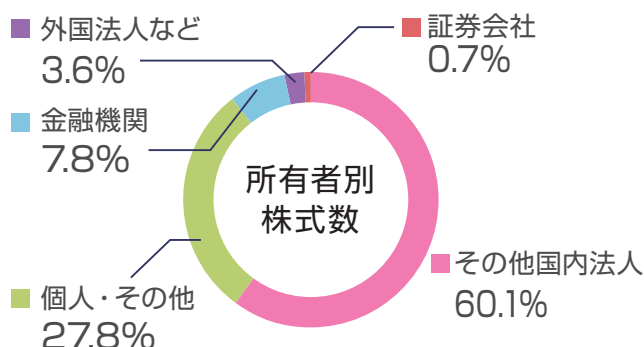
※発行済株式の総数は自己株式(8,602株)を控除して計算しております。

主要株主の状況

株主名(大株主)	持株数(株)	持株比率
山崎製パン株式会社	14,021,300	54.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,084,700	4.2
不二家不二栄会持株会	828,800	3.2
株式会社バンダイナムコホールディングス	500,000	1.9
株式会社りそな銀行	302,207	1.1
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	165,900	0.6
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	131,871	0.5
STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234	130,700	0.5
藤井林太郎	127,444	0.4
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	100,100	0.3

・持株比率は自己株式(8,602株)を控除して計算しております。

株式の分布状況



2022年12月31日現在

株主優待制度

年1回の権利確定日に※株主様に対し、3月上旬に発送する「定時株主総会招集ご通知」に株主ご優待券を同封し、送付しています。

※権利確定日…毎年12月31日の最終の株主名簿に記載のある株主様



株主ご優待の基準及び内容

株主ご優待券は、当社グループ店舗(一部店舗除く)でご利用いただけます。株主様に当社商品をお試しいただき、ご意見などを承っております。

所有株式数	ご優待内容
100株から499株まで	株主ご優待券 500円券×6枚
500株から999株まで	株主ご優待券 500円券×8枚
1,000株以上	株主ご優待券 500円券×12枚



持続可能な原材料調達のために

常により良い商品・サービスをお客様に提供し続けることを通じて、社会の発展に貢献したいと考えています。このため、次のような基本方針に沿って必要な原材料の購買活動を行っています。

〈購買基本方針〉

- (1) 私たちは公正で透明な取引を常に心がけ社会の発展に寄与します。
- (2) 企業活動に関わる全ての法令を遵守し、業務遂行に努めます。
- (3) お客様から満足していただける「安全と安心」への取り組みを行い、良質な原材料の安定提供に努めます。
- (4) お取引先に対しては、いかなる時も、誠実で公平な対応を心がけ、公正で自由な競争取引を推進し、品質・コスト・技術力などの総合評価を行い、お取引先を選定します。
- (5) 改善意欲を強く持ち、積極的に行動し日々の業務を遂行します。
- (6) 地球環境に配慮した購買活動に努めます。

WCF(世界カカオ財団)に加盟

不二家は、カカオ栽培農家への技術指導や教育支援活動、過酷な児童労働のない社会の実現に向けた各種プログラムを推進している活動に賛同し、2018年よりWCF※(World Cocoa Foundation:世界カカオ財団)に加盟しています。

※カカオ生産国において、持続可能なカカオ経済を促進し、経済的・社会的発展や環境保護を実現していくことを目的とした組織。



▲カカオ(ガーナ産)



▲現地での支援の様子

サステナブルカカオ豆の調達目標と進捗

不二家で使用しているチョコレートの原料「カカオ豆」は、不二家にとって必要不可欠な原料です。しかし、このカカオ豆の生産地では、農家の貧困や児童労働、森林破壊といったさまざまな課題を抱えています。

これらの課題を解決するため、不二家では持続可能な方法で生産されたカカオ豆＝サステナブルカカオ豆の調達を、2021年より開始しました。主な調達先であるガーナ産カカオ豆のうち、サステナブルカカオ豆の割合を2028年までに100%とすることを目標に取り組んでいます。

進捗		目標
2021年	2022年	2028年
12%	24%	100%

サステナブルカカオ豆購入を通じた支援活動の一例

不二家ではサステナブルカカオ豆を購入する際、購入ルートを通じ買付金額の一部をカカオ栽培農家の支援活動に充当しています。

(一例)

- ・児童労働問題の解決へ向けたCLMRS※₁、VSLA※₂を活用した取り組みへの支援
- ・森林保護区以外で栽培されたカカオ豆の購入
- ・現地カカオ農家の生活水準向上支援
- ・カカオの木を直射日光から守るシェードツリー(日陰樹)の植林支援

※₁ CLMRS:児童労働監視改善システム(Child Labor Monitoring and Remediation System)
カカオ産地で児童労働撤廃のための活動を推進するNPO団体のICIが開発したシステムで、各農家に対するモニタリングとモニタリングに基づいた対策立案・実行のサイクルで児童労働を防止する手法。

※₂ VSLA(Village Savings and Loan Association)
農家コミュニティ内での自主的な資金管理を支援し、児童労働の根本的要因の一つである貧困を改善する手法。

RSPO(持続可能なパーム油のための円卓会議)に加盟

パーム油はお菓子やケーキに使用される油のひとつで、欠かせない原料であり、不二家でも数多くの商品に使用しています。しかし、このパーム油生産の傍らでは、急速なアブラヤシ農園の拡大や、不適切な農園経営といった諸問題が生じています。

これらの問題は、森林の伐採、生物多様性の減少、土壌侵食・汚染などを引き起こし、環境そのもの及び森林に依存する人々の生活を脅かす原因となっています。

そこで不二家は、持続可能な原料調達を目指す取組みとして、RSPO※(Roundtable on Sustainable Palm: 持続可能なパーム油のための円卓会議)に加盟しています。

※RSPO: パーム油生産企業、メーカー、小売、環境団体などにより設立された非営利の会員組織で、持続可能なパーム油の生産と利用を促進することを目的としています。

安全・安心な原材料調達・産地や取引先工場への訪問

品質確認・現地監査

不二家では、安全で安心な原材料の確保のために、産地へ出向き現地現認に努めています。産地や取引先の工場へ訪問し、作柄や原材料の管理状況、品質を確認することで、より品質の高いものを確保することに努めています。



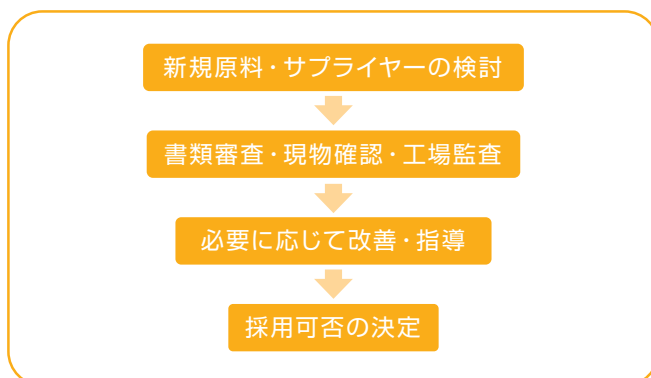
▲甲州ワイン



▲淡雪

新規原料・取引先の開拓・選定フロー

新たな原料、サプライヤーを採用する際は、安全・安心な原料調達を行うために、多くのプロセスを踏んでいます。使用に適した原材料か、取引先はどのような会社かを見極めるために、まず書類審査を行い情報を収集します。次に「現場・現物・現実」の三現主義にもとづき、実際に現地や工場に足を運び、現物や生産環境に問題はないかを確認します。最後に、問題があれば必要に応じて改善・指導を行い、採用の可否を決定しています。



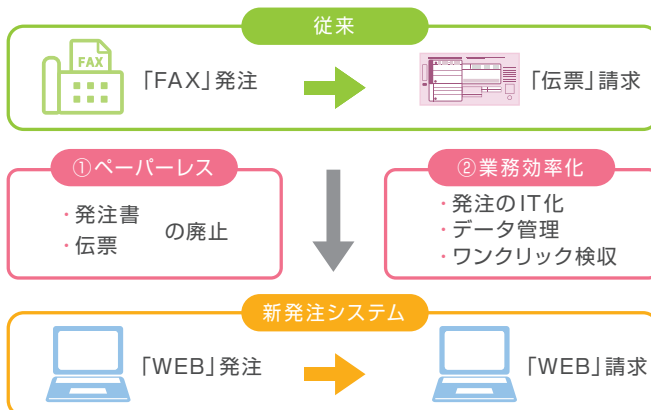
原材料の安定供給のために

クラウド型電子発注システムの導入

不二家は200社を超えるお取引先様より原材料を購入しています。日々安定的に原材料を調達するため、お取引先様との業務効率化を図り、クラウド型発注システムを導入しています。

従来のFAXを利用した発注や伝票での請求から、WEBで発注から請求、検収まで行える運用へと変えることで、双方のメリットが生まれています。新しいシステムでは、お取引先様は外部クラウドサービスを活用することで、テレワークなどの環境でもスムーズに受注いただける仕組みとなっています。

また、ワンクリックで検収し自動で決済システムへ連携することで、伝票を自社システムへ入力時のミス防止や省力化が実現され、互いに効率よく業務が進められるようになりました。さらに、双方でペーパーレス、印鑑レスの受発注が可能のため、生産性が向上し、年間でA4用紙約30万枚分の削減を達成しています。



サプライヤー BCP 調査、複数購買・地域分散型購買の推進

近年、台風や地震などの災害リスクが高まってきています。そのほかにも、システム障害、感染症の蔓延、地政学リスクなど、現代では事業継続においてさまざまなリスクが考えられます。

お取引先様が万が一危機的状況下に置かれた場合でも、重要な業務が継続できるように対策されているか、BCP調査を行うことで、安定的な原材料調達が可能となるように、ISO22000の規定に沿って対策を行っております。

また、仕入れ先を1つに絞らない複数購買・地域分散型購買を推進し、安定した原材料供給を実現しています。

苺の安定供給

洋菓子部門年間売上第1位の「プレミアムショートケーキ(国産苺)」をはじめ、不二家では数多くのケーキに苺が使用され、品種や産地も多岐に渡ります。

菓子事業部においても、こだわりの苺を加工し、独自の技術でお菓子に配合することで、バラエティ豊かな商品作りを行っています。

また、これらの商品を製造するためには、大量の苺の確保が必要です。大量の苺を調達するためには、お取引先様との関係構築が不可欠です。そのため、日本各地の産地を毎年訪問し、卸売業者の方々や農家の方々と情報交換やコミュニケーションを図り、連携して安定供給に努めています。

各工程でのお取引先様からのご協力は、不二家のおいしいケーキやお菓子作りの大切な要素になっています。



▲プレミアムショートケーキ(国産苺)



▲クリスマス苺のスペシャルショートケーキ



▲ルック(いちごビュッフェ)



▲カントリーマーム(あまおう苺ドルチェ)

夏苺

苺は冬に多く収穫されるため、季節がら夏に採れる苺は少なく、国産苺の安定供給は容易ではありません。1年を通しておいしい国産苺を使用したケーキをお客様にお届けできるよう、栃木県日光地区の苺を供給いただいております。また、福島県大熊町からも、最先端の設備を取り入れた安全・安心な苺を供給いただいております。



▲日光地区の苺



▲大熊町の苺



▲あまおう苺

冬苺

クリスマスの時期は、不二家の生鮮苺の使用量が最も多くなる時期です。中でも1番人気の品種、あまおう苺を福岡県から安定供給いただいております。

こだわりを持った原料の手配

不二家はこだわりを持った原料、厳選素材の手配にも注力しています。国内産の産地や品種に特化した原料を使用し、安全・安心をお客様へ提供すると同時に、地方再生にも貢献しています。また、このような厳選素材を使用することで、生産者の方々の想いを商品に寄せ、より一層価値の高い商品を作り出しています。



▲愛媛県産せとかを使用したミルクレープ



▲熊本県産球磨栗を使用したプレミアムモンブラン



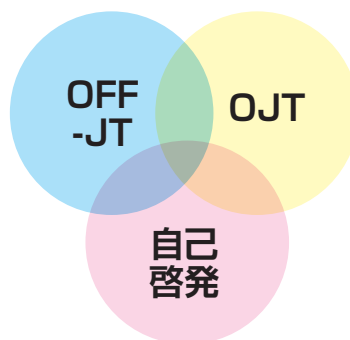
人材育成・人材活用

人材育成に大きく関わる不二家の人事制度の最重要ポイントは、「やりがいのある仕事に携わり、夢を実現させていくための仕組みづくり」です。働く中で「幸せ」を感じるからこそ、商品・サービスを通じてお客様に「幸せ」を提供することへの近道だと考えています。

また、入社後3年間および階層別に研修を実施することで、早期に活躍できる社員を育成するとともに、求められる役割や責任を理解することで、より活性化した組織の醸成を進めています。

不二家 人材育成の柱

- 1. OFF-JT (OFF the Job Training)
: 集合研修
- 2. OJT (On the Job Training)
: 職場での実務
- 3. 自己啓発: 通信教育等



考課面接

半年に一度、上司の評価を適切に伝え部下に対する指導を行う「育成面接」と、来期の目標を設定しその目標をどのように達成するかを話し合う「目標面接」を実施しています。面接を通じ、公正で透明性の高い評価制度の運用を行うとともに、会社方針を個々に浸透させ、上司と部下の役割と責任を認識し合うことで、結束力の強い組織を構築しています。

公募制度

事業部門が社内人材を募集した際に、個人が自由意思で応募し、選考のうえ職場異動する制度です。自己のキャリアアップに繋がりたい、新しい業務にチャレンジしたいといった意欲の高い人材の適正な配置と組織の活性化、社員のモチベーションアップを図ることを目的としています。

通信教育

個々人の自己啓発を促し、自律した人材の育成を進めるために、年2回の受講期間を設けています。講座は常に見直しを図っており、2022年は「データ解析」「DX」関係の講座を充実させました。また、受講促進に向け、費用を補助する制度があります。

新任管理職に向けては、1年間マネジメントに必要な知識・スキルを学ぶeラーニングの受講を義務付けることで幅広い知識の習得を図っています。



▲通信教育の冊子

ジョブローテーション

人材育成の観点から異動を実施し、複数の職場を経験することで、職務遂行能力の向上と広い視野の獲得を目的に実施しています。

各種研修

新入社員研修

就業規則や人事制度、福利厚生などの規則・制度に加え、マナー研修やコンプライアンス教育など幅広い研修を実施し、一人ひとりが不二家の社員としてのみならず、社会人として自立し適切な行動が行えるよう教育を行っています。

フォローアップ研修

入社3年間で、必要とされる能力を段階的及び体系的に身につけ、『組織貢献できる中堅社員』になることを目指し、入社年ごとに自己理解、他者と関わる自分、組織の中の自分といった成長のイメージを掲げ実施しています。



OJTリーダー研修

指導・助言方法、職場全体での育成などをテーマに教育を実施しています。業務を通じて新入社員を指導・育成することにより、新入社員・OJTリーダー相互の成長を目的としています。

ランクアップ研修

中堅社員やリーダーといった階層ごとに求められる役割を果たす力を身に付けることを目的に、昇格時に研修を実施しています。仕事をリードする、人をリードするために必要とされる能力について、グループワークやロールプレイなどを通して実践的に学ぶ研修となっています。



▲研修風景

新任管理職研修

管理職としての役割と責任に加え、人事考課制度の仕組みを改めて理解するとともに、人材育成の重要性を学び、面接の手法を習得することを目的に実施しています。加えて、管理職に必要な知識としてハラスメントやメンタルヘルス対策、労働法などについての教育も実施しています。

不二家ビジネスカレッジ

若手社員を対象とした選抜型の研修を行うことで、新しい時代に対応できる次世代の幹部・リーダー人材の育成を進めています。急激に変化する社会環境への対応、部門を越えた広い視野の獲得、個々人の能力アップなどを目的としたカリキュラムで実施しています。

福利厚生

カフェテリアプラン

健康維持や自己啓発に関する14個のメニューの中から、合計で年間15,000円まで費用支援を受けることができる制度です。資格取得のための受験・受講費用、各種検診費用やスポーツ活動支援といった健康維持・増進関連、旅行の宿泊費や遊園地の入園料などの余暇支援と、幅広いメニューを用意しています。

健康保険組合との連携

不二家健康保険組合と連携しさまざまな施策に取り組んでいます。不二家健康保険組合では、適度な運動や食生活改善などを目的に、「健康ポイントプログラム」の実施、スポーツ施設と契約して健康づくりの場の提供を行っています。また、保険事業として、人間ドック、脳ドック、各種がん検診の補助を実施することにより、疾病の早期発見、治療のサポートを行っています。ほかにも、生活習慣病の対策として、40歳以上(特定保健指導対象者以外)で血糖値が基準値以上かつ医療機関未受診の方へ、受診勧奨を行っています。

併せて、本人だけでなく扶養家族を含めて1名4,000円までのインフルエンザ予防接種の費用補助を行っています。一定規模の事業所では、産業医や産業医が所属する医療施設と連携し、従業員本人の接種機会を設けています。

ダイバーシティ

女性管理職

女性の活躍推進に向けて、管理職と一般社員の意識改革、女性リーダーの早期育成、育児休業からの復帰支援、男性社員の育児参画促進などに関する施策を実施しています。

女性管理職については、2021年度は23人(9.9%)、2022年度は24人(9.4%)と推移しており、2024年度の目標として15%を掲げています。

キャリア採用

2022年は22人のキャリア採用を行いました。さまざまな経験をしている採用者に、私たちになかった価値観を持ち込んでもらい、それぞれの強みを活かした活躍を期待しています。

また、キャリア採用の管理職については、2021年度は24人(10.2%)、2022年度は26人(10.2%)となっています。

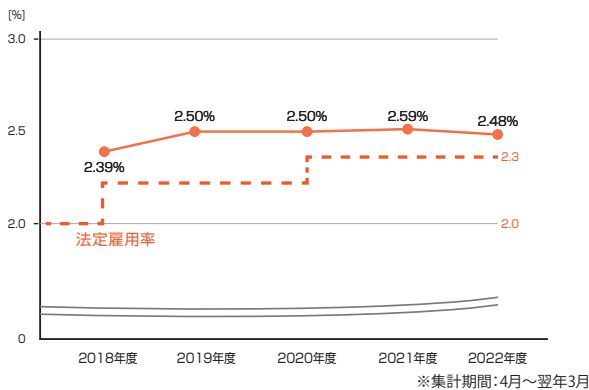
労働施策総合推進法に基づく中途採用比率

年度	中途採用比率
2020年	22.7%
2021年	26.1%
2022年	22.2%

障がい者雇用

不二家は、障がい者雇用に取り組んでおり、法定雇用率を上回る障がい者雇用数・雇用率を維持しています。2021年3月からは法定雇用率が2.3%となっていますが、2022年度における不二家の障がい者雇用率は2.48%、雇用者数は71人となっています。

〈障がい者雇用率推移〉



人権教育

コンプライアンス室と連携し、教育を実施しました。全従業員向けのコンプライアンス教育以外にも新入社員への人権研修、新任管理職への人権・ハラスメント防止研修を実施しました。また、外国人の従業員に向けては、外国人向けハンドブックによる入社時の労働安全衛生・食品安全衛生教育の実施なども行っています。引き続き一人ひとりが人権について理解を深めるサポートを行い、多様な人材が活躍できる環境と組織作りを目指していきます。

育児・介護制度

育児や介護を行う従業員が仕事と家庭を両立できるよう、育児・介護を支援する制度を設けています。特に育児に関しては、従業員の産前産後休暇中における賃金を最大で100%保証しています。また、配偶者の分娩時や分娩後の育児を目的とした、取得可能な特別休暇の制度もあり、2022年度の男性の育児休業・育児休暇の取得率は83.3%となりました。また、短時間制度や時差勤務制度は、お子さんが小学3年生の修了を迎えるまで取得することが可能となっています。

2022年度の育児休業者は65名(うちパートナー社員18名)、男性の育児休暇取得者は25名、短時間勤務制度利用者は42名でした。今後も制度利用の促進に取り組んでまいります。

再雇用制度

法的、社会的要請の観点からのみならず、社員にとって魅力的でかつ働きがいがある会社であるために、定年退職までの豊富な経験と技術を持っている社員の再雇用を行っています。満60歳に達する社員の再雇用希望の有無や本人の勤務形態、勤務地などの労働条件の希望も考慮のうえ、本人が有するスキルに合致すると会社が判断した職務を提示し、合意の場合に継続雇用する「再雇用制度」(60歳定年後)を導入しています。2022年12月現在で69名が再雇用者として在籍しています。

ワークスタイル

不二家では、働き方改革の一環としてコロナ禍以前よりさまざまな取り組みが始まっていましたが、2020年4月に発出された緊急事態宣言以降、さらに大きく変わりました。入室前の検温とアルコール消毒の徹底、会議などのオンライン化、テレワークの活用、本社ではフリーアドレスの活用、ミーティングブースの導入なども行いました。また、各事業所においても、職場に適した感染症対策を実施しています。その一環として、工場においては感染症対策を組み込んだうえで、食堂の美化改装を進めています。



▲入室前の検温とアルコール消毒



▲感染症対策と美化改装した社員食堂(アクリル板の設置など)



▲個別ミーティングブースの導入

テレワーク

不二家では、仕事の生産性・効率性の向上、育児・介護との両立による就労の確保、従業員のプライオリティにあわせたワークスタイルやライフスタイルの実現、感染症等を含むBCP対策を目的として、2020年より実施していた在宅勤務制度を新たに整理し、2022年3月より「テレワーク制度」として導入しています。

当制度は在宅勤務、サテライトオフィス勤務、モバイル勤務の3種類から成り、雇用形態に関わらず全従業員が利用可能です。

労使協力関係

管理職及び経営に関わる部署の人員を除く全正社員が「不二家労働組合」に加入しています。労使間では、健全な企業経営と企業の持続的な発展を目指し、「労使協議会」「経営協議会」を開催しています。経営側と組合側が諸問題について忌憚のない意見交換を行うことで、経営上の課題解決や人事労務関係の諸施策導入など、スピーディな対応を図っています。2022年度は、休日の増加や正社員および定年再雇用者への時間単位の年次有給休暇制度の導入(2023年4月より)、定年再雇用者の福利厚生拡充(2023年3月より)など、従業員の労働環境改善に向けた議論を進めました。

健康経営

従業員の健康は、会社を成長させることにもつながり、当社にとって大切な財産です。不二家では、経営トップによる健康経営宣言のもと、従業員の健康保持増進に取り組んでいます。

健康経営宣言

不二家の経営理念「常により良い商品と最善のサービス(ベストクオリティ・ベストサービス)を通じて、お客様ご家族に、おいしさ、楽しさ、満足を提供する」を果たしていくためには、従業員が個々に持っている能力を十分に発揮することが必要不可欠です。そして、そのためには、従業員が健康でいきいきと働くことが重要です。

不二家は、不二家労働組合、不二家健康保険組合と一体となって、従業員の健康と安全を組織で支える健康経営を推進し、健康の保持増進に取り組めます。

株式会社 不二家
代表取締役社長 河村 宣行

〈健康経営推進体制〉

健康経営推進責任者

代表取締役社長

健康経営推進事務局

人事部

健康保険組合

労働安全衛生

労働安全衛生管理体制

不二家は、「お客様に安全な商品をお届けするためには、従業員の安全と健康に配慮し、全従業員が安心して働くことのできる職場環境づくりが不可欠である」との経営トップの強い意志のもと、労働災害ゼロを目指し、労働災害防止に向けた施策を実施しています。

全社的な労働安全衛生方針の策定や安全対策の検討、情報共有などを行う「中央労働安全衛生委員会」を本社に組織し、全国の工場、営業所・支店、直営店舗（エリア毎）には「中央労働安全衛生委員会」の下部組織として「労働安全衛生委員会」を組織しています。「労働安全衛生委員会」では、全社方針にもとづき、それぞれの事業所の実態に即した安全衛生活動を検討し、実施しています。

2022年度は、上記にもとづく活動を推進した結果、休業災害がゼロ件となりました。今後も全ての労働災害ゼロを目指し活動を強化していきます。

設備改善、新規設備導入

機械設備の本質安全化に向け、新規設備導入時のリスクアセスメントを実施してリスク低減策を講じることや、毎月実施している安全パトロールで発見した不安全箇所の改善など、製造現場を中心に設備改善を積極的に推進しています。併せて、重量物の運搬など作業負荷の大きい仕事について、負担軽減に向けた設備を導入することで、年齢、性別問わず従業員が安心して働ける職場環境づくりに努めています。2022年度も大型設備の導入がありましたが、上記活動を行うことで、安全な職場として操業を開始できました。

安全衛生巡回

毎年、社内の労働安全衛生顧問と中央労働安全衛生委員会による全国の工場巡回を実施しています。日頃から工場勤務する従業員の意見を吸い上げ、機械設備の安全化、働きやすい職場づくりを進めていますが、工場巡回で第三者の視点から現場をチェックすることで、普段勤務していると気づきにくい危険箇所を抽出、本質安全化を検討し、計画的な改善につなげています。尚、この工場巡回は、不二家グループ全体の労働安全衛生管理水準の向上のため、全9工場と関係会社（ダロワイヨ、不二家神戸、不二家福島、不二家乳業）で実施しています。

安全教育・啓蒙

機械の本質安全化を進めるとともに、従業員自身が安全第一で仕事をするよう、危険への感受性を高めるための安全教育、情報発信を行っています。安全に対する意識レベルを把握するために従業員の安全意識に関するアンケートを実施してその結果を分析し、意識レベルに合わせた安全教育を実施しています。また、製造現場には外国籍の従業員も勤務しているため、安全衛生教育に使用している「安全衛生ハンドブック」の外国語版（英語版、中国語版）を作成し、教育に役立てています。そのほかにも、安全作業手順書を整備し、繰り返し教育を行うなど、ルールを守ることの重要性を伝え、安全第一の職場づくりを行っています。

不二家労働安全衛生基本理念

「常に活力ある企業であるために、

社員の安全と健康の確保を第一とし、

働きやすく、快適な職場づくりを行います。」

- ①各事業所、本社各部署が一体となり、安全教育・設備改善を確実に実施し、働きやすい職場づくりを推進する。
- ②長時間労働による健康障害防止を実施するとともに、職制を通じた健康管理、従業員の健康意識向上に繋がる施策を推進し、従業員の健康を守る。
- ③交通法規の遵守と安全運転・防衛運転を徹底し、交通事故・通勤災害の撲滅を図る。

2022年スローガン

『愛』を行動に！進めよう「快適安全な職場づくり」



▲工場の安全巡回



▲工場での安全教育

交通安全講習会

車両事故を未然に防ぐ観点から、交通安全教育を実施しています。2022年11月、年末繁忙期を迎えるにあたり、洋菓子事業本部・菓子事業本部の外勤者を対象に、警視庁大塚警察署の交通課長をお迎えして講習会を行いました。交通ルールの順守と正しい交通マナーを再確認するとともに、各自が無事故、無違反を継続し、安全に対する意識を持ち続け実践することを目的に、オンラインも活用しながら245名が参加しました。当日参加できなかった方へは動画配信を行い、対象者全員に実施しました。



▲交通安全講習会の様子

メンタルヘルス

自分自身の状態を把握して対処することや周囲の働きかけなどでメンタルヘルス不調の予防や早期発見が可能になるとの考えから、新たに管理職となった社員への研修や新入社員研修にて、メンタルヘルスに関する考え方などの講義を実施しています。また、毎年実施しているストレスチェックの集団分析を活用し、職場環境改善に向けたフィードバックを行っています。各職場にて、実態に合わせた取り組みを行うことで、従業員一人ひとりがいきいきと働ける職場づくりを目指しています。

時間外労働の削減への取り組み

生産性向上に向け、各種施策に取り組むのと同時に、さまざまな視点から時間外労働の削減に向けて取り組んでいます。必要以上に従業員の負担増加とならないよう、各職場にて現状を分析し、特定の個人に負担を集中させないための多能工育成や省人設備の導入、業務の洗い出しによる不要な業務の削減、作業の効率化などを行なっています。

また、直営店舗においては、シフト管理を本部にて一元管理し適正な人員配置を行っています。店舗ごとに効率的な運営を図ることで、労働時間の削減にも取り組んでいます。

防災への取り組み

不二家は、毎年定期的に全事業所で避難訓練及び安否確認の訓練に取り組んでいます。特に各工場では年間2回、防火・防災の観点から徹底的な点検を行うほか、震災などを想定した帰宅困難者対策も行っています。

防火防災の自主点検では、避難経路の確保、燃焼設備周辺の可燃物がないかのチェックのほか、従業員教育の実施状況の確認、防災備品の点検などをしており、2022年度は、避難経路上にある防火シャッターの位置確認や停電時のシートシャッター脱出訓練を重点的に行いました。

また、帰宅困難者対策では、定期的な防災備品の見直しをしています。大規模災害の直後では、下水道復旧まで時間を要し、トイレが使用できないことが想定されるため、帰宅困難となる従業員の健康等に配慮して、より衛生的で安全な簡易組み立て式トイレを2022年に本社および各工場に導入し災害に備えています。



▲燃焼設備周辺の点検



▲ほぼ紙トイレ

社内情報の共有

部署を越えて横断的に集めた社内若手メンバーを中心に小委員会を運営し、2種類の社内報を発行しています。

週刊社内報「WEEKLY Sweeeet !!(ウィークリースウィート!!)」

毎週金曜日に週刊社内報「WEEKLY Sweeeet!!(ウィークリースウィート!!)」を発行し、社内イントラネットに掲載しています。社内情報のいち早い共有を目的に、各事業部や、工場、本社部門に加え、不二家グループ各社の情報を毎週発信しています。新商品や新店舗、工場やエリアごとの取り組みやイベントなど、さまざまな情報を紹介しています。



▲「WEEKLY Sweeeet !!」

社内報「Sweeeet !!(スウィート!!)」

年3回発行している冊子の社内報「Sweeeet!!(スウィート!!)」は、「今の不二家をみる！明日の不二家を考える!!」をテーマに、経営層からの情報発信をはじめ、日常業務で役立つ企画や、新商品情報、従業員の趣味や意外な一面を紹介するコーナーなどバラエティに富んだコンテンツを掲載し、従業員間のコミュニケーションツールとしても活躍しています。



▲「Sweeeet!!」



▲社内報編集ミーティングの様子

担当者の声



経営企画室
広報IR部 広報室
N.M

私は2016年から社内報編集に携わせていただき、さまざまなコーナーを担当してきました。私自身、テレワークが普及し働きやすくなった反面、他部署の情報を得る機会が減ってしまったと実感しています。そんな中で、今会社でどんなことが起きているのかいち早く知ることができる、毎週金曜日に発行している電子媒体の「WEEKLY Sweeeet!!」や、他部署のトピックから社員のエピソードまで、楽しく詳しく知ることができる年間3回発行の紙媒体の社内報「Sweeeet!!」の存在はとても大切であると改めて感じました。

マスク生活が普及し素顔を見ながらのコミュニケーションが取りづらい世の中だからこそ、より多くの社員に登場してもらい生の声を届けることや、他部署の取り組みを紹介することで、社内コミュニケーションのキッカケになることを意識して制作しています。

また、10年後、100年後の従業員にも不二家の歴史を伝えていくために、さまざまな情報を社内報という形できちんと残していかなくてはならないという使命感を持って取り組んでいます。

環境活動



不二家は、省資源、省エネルギー、CO₂排出量削減などの環境保全問題への取り組みを通して、より良い商品とサービスをお客様に提供するよう努めています。ISO14001にもとづく活動の中で、環境意識向上にも取り組んでいます。

環境方針

不二家は「環境基本理念」「環境基本方針」にもとづいて、従業員一人ひとりが当社の果たすべき責任と役割を認識し、低炭素社会、循環型社会の実現に寄与する「地球にやさしい企業」を目指しています。また、積極的に地球環境、生態系への負荷を低減し、気候変動リスクを常に意識しながら生物多様性の保全と資源の有効活用に向けた取り組みを継続的に推進することにより、持続可能な社会に貢献していきます。

〈環境基本理念〉

- この恵み豊かな地球環境を守り、健全且つ安全で自然環境を含む生態系が保全されることが人類共通の重要課題であると認識いたします。
- 株式会社不二家は「食」を通じて、人々の健全と安全を守るとともに、豊かさ、そして安らぎを育み、生活文化創造に貢献してまいります。
- 今後は、さらに事業活動のあらゆる側面で地球環境への負荷を最小限とするよう努力し、「環境との調和」を図るよう努めて、人と自然との共生を図り、「地球環境にやさしい企業」を目指して行動してまいります。

〈環境基本方針〉

- (1) 事業活動、商品、業態、サービスなどがかわる著しい環境側面を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、技術的、経済的に可能な範囲で、環境目的、目標を定めて、環境保全活動の継続的な向上、改善を図ります。
- (2) 環境関連の法律、規制、協定などの厳守はもとより社会要請に応える環境管理体制の整備と充実に努めます。
- (3) 事業活動における省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、リサイクルおよび環境汚染物質排出量の削減に取り組めます。
- (4) 地球における緑化、環境美化活動、環境保全への支援、活動に取り組めます。
- (5) 全従業員に対して環境教育や啓蒙活動を積極的に行い、環境保全に関する意識向上を図ります。

環境目標(CO₂排出量削減目標・食品リサイクル率目標)

不二家では、CO₂排出量削減と食品リサイクル率の長期的な目標を設定し、低炭素社会の実現と循環型社会の形成への貢献に努めています。

CO₂排出量

46%

削減
(2030年度末までに)
※2013年度対比

食品リサイクル率

95%

達成
(2030年度末までに)

TCFD

2023年4月、株式会社不二家は金融安定理事会(FSB)により設置された「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」提言へ賛同し、同コンソーシアムに加盟いたしました。今後、気候関連リスク/機会を特定した上でそれらに対応する体制等について、より積極的に情報開示を進めてまいります。

気候変動に関する取り組みを推進することで、持続可能な社会の実現を目指してまいります。



マネジメント体制

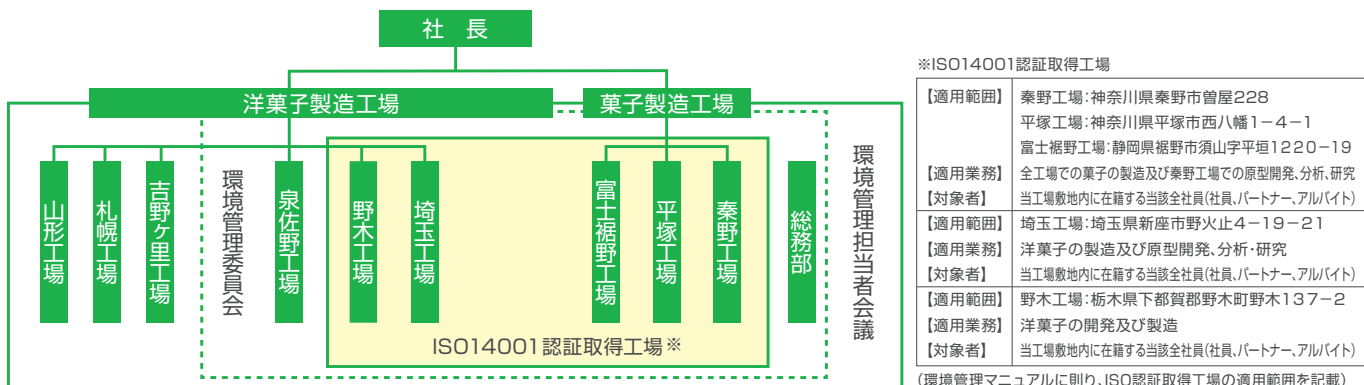
マネジメント体制図

不二家では、環境方針を軸にISO14001にもとづく環境マネジメントシステムを運用し、環境マネジメント体制と、迅速な行動・コミュニケーションの強化を図るため、各工場を社長直轄の体制としています。

また、各工場には「環境管理委員会」を設置し、省エネルギーや廃棄物削減等の目標達成の取り組みと、パフォーマンス達成状況や環境関連法規の改正、遵守状況を毎月確認し、組織的に推進することで継続的な改善を図っています。

さらに、全工場間の環境情報や取り組みを共有する目的で、「環境管理担当者会議」を必要に応じて開催し、目標や課題への具体的解決策を検討し、改善への行動に結びつける環境マネジメントを推進しています。

〈環境マネジメント体制図〉



審査機関による審査

ISO14001認証取得工場では、「ISO14001:2015年度版」の規格にもとづき、1年に1回、審査機関によるサーベイランス審査(定期審査)を実施しています。サーベイランス審査(定期審査)では内部監査及びマネジメントレビューの実施状況、前回審査で特定した不適合についてとられた処置の確認等を行うことにより、環境マネジメントシステムが適切に機能しているのかをチェックし、ISO14001を維持していくうえでの重要な審査となっております。



▲秦野工場ISO14001 外部審査の様子

地方公共団体への協力

地球温暖化防止のため、地域・行政への協力を積極的にこなっています。行政の定める省エネ法、食品リサイクル法等の法令に従い、各工場・事業所と連携し、石油・電力等エネルギーの使用量や廃棄物の量を管理し、毎年報告書を提出しています。

環境教育・緊急事態訓練

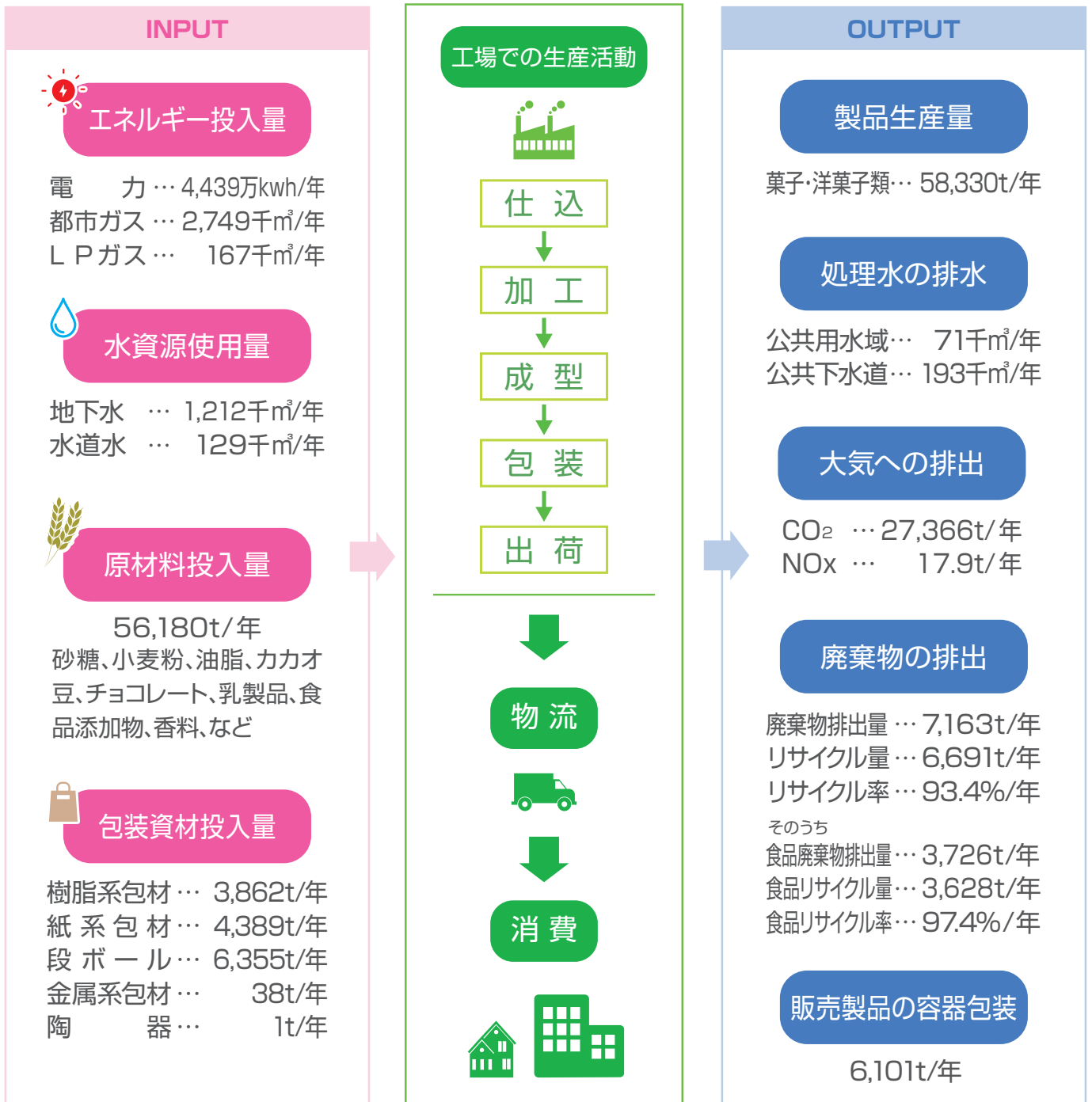
環境マネジメントシステムの運用には、システムを運用する従業員一人ひとりの意識向上、適切な知識の取得が欠かせません。ISO14001認証取得工場では、全従業員を対象とした環境教育を実施して、環境保全に関する知識レベルの向上に努めています。

また、各事業所では災害・事故などによる環境汚染の防止及び緩和を図るため、対応の手順を定めるとともに、緊急事態を想定した訓練を定期的実施しています。

事業活動のマテリアルバランス

不二家では、事業活動にともなって発生する環境への影響を正しく把握し、環境負荷の低減に取り組んでいます。

〈2022年度マテリアルバランス〉



※集計対象: 秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、埼玉工場、野木工場

※期 間: 2022年1月～2022年12月

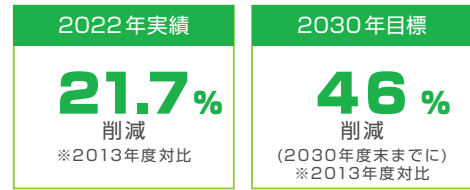
※マテリアルバランスとは、事業活動におけるエネルギー及び資源の投入量(インプット)と、その活動にともなって発生した製品および環境負荷物質(アウトプット)を表したものです。

地球温暖化防止への取り組み

CO₂排出量削減実績と目標

不二家では、2030年までにCO₂排出量を2013年度比で46%削減することを目標に、低炭素化社会の実現に向けた取り組みを積極的に行っています。2022年度は、2013年度対比で21.7%の削減となりましたが、目標達成のために今後より一層の努力をしていきます。

〈CO₂排出量削減実績と目標〉



太陽光パネルの設置

富士裾野工場、吉野ヶ里工場、秦野工場では工場の屋上に太陽光パネルを設置し、太陽光発電を行っています。2022年は、3工場の稼働で149万kwhの電気使用量を削減し、CO₂換算では687t-CO₂を削減しました。

さらに2023年6月には、富士裾野工場の太陽光パネルを増設し、電気使用量とCO₂排出量の削減を行っています。



▲秦野工場太陽光パネル

設備改善によるCO₂削減

不二家の各工場では、CO₂の排出量削減対策として、冷凍機、空調機などの設備を環境負荷の低い設備へ順次、更新しています。

設備の更新だけでなく、各工場では現場のスタッフが工夫してCO₂排出量削減、省エネのための改善活動を実施しています



▲富士裾野工場エアークOMPRESSOR運転自動制御改善

〈2022年度 主な設備改善によるCO₂削減への取り組み〉

工場	更新設備	CO ₂ 削減量(t/年)
野木	2課入口手洗い用温水ユニット更新	1.2
埼玉	冷蔵、冷凍庫扉開閉による冷気漏れ、暖気侵入防止カーテン設置 ボイラー運転管理の改善(定期時間の創出、運転スケジュールの改善)	71 204.6
吉野ヶ里	ガス設備運転管理改善(温度設定変更、停止時間の創出、運転時間見直し) 生産設備「照明電源ON・OFF活動」実施	35 5
平塚	空調用ポンプ類の季節変動に伴う運転管理	12.6
秦野	自家消費用太陽光発電機	375
富士裾野	エアークOMPRESSOR台数制御改造 + 吐出圧力低減(0.62→0.55Mpa) 12月~3月冬季空調運転管理の変更(期間中AHU運転停止、除湿器夜間停止)	45.6 65.7

空調設備の環境対策

各工場では、フロン使用設備をオゾン層破壊や地球温暖化への影響が少ないタイプへ順次更新し、電力量・CO₂排出量の削減に取り組んでいます。

2022年には、埼玉工場の冷凍庫や、泉佐野工場、平塚工場などで空調機を更新し、オゾン層への影響が大きい仕様の設備を環境への負荷が低い設備へ更新しました。

〈2022年度 主なフロン使用設備の更新〉

工場	更新設備	CO ₂ 削減量(t/年)
野木	1課クッキー仕込み冷蔵庫、冷凍機更新工事	9.3
泉佐野	包装室1・2空調機 更新(冷媒R22) 物流冷凍庫No.2冷凍機ユニット更新(冷媒R22)	4.2 11.9
平塚	第3工場半製品置場空調機更新(冷媒R22)	14.28
秦野	食堂パッケージクーラー更新(冷媒R22)	5.7
富士裾野	仕込み用製氷機更新(冷媒R22)	3.2



▲平塚工場チョコレート保管タンクモーター



▲富士裾野工場仕込み用製氷機

保管・輸送時の環境負荷低減

商品の配送時には、他菓子メーカーとの共同配送を全国で実施しています。輸送車両を減らすことにより、物流コストやCO₂排出量の削減を図っています。また、北海道・九州地区の配送においては、環境に優しく大量輸送が可能な船舶や、鉄道コンテナを有効的に利用し、CO₂排出量の削減や作業効率の向上に貢献しています。



店舗での取り組み(環境への配慮)

不二家洋菓子店や不二家レストランでは、新店オープンや既存店の改装にあわせて、環境に配慮した店舗づくりを推進するとともに、省エネルギー設備の導入や合理化を行い、省エネルギー対策に努めています。

ケーキを陳列する冷蔵ショーケースや店内照明などのLED化、空調機器等の更新などを行い、電気使用量の削減に取り組んでいます。

レストランでは、全店舗に節水ノズルを設置し水資源の節約に取り組んでいます。揚げ物に使用した廃食用油は、食品リサイクル法に対応した廃食用油収集運搬業者が回収し、バイオディーゼル燃料に再生しています。

LED化の実例



▲冷蔵ショーケース



▲店内照明



▲外観

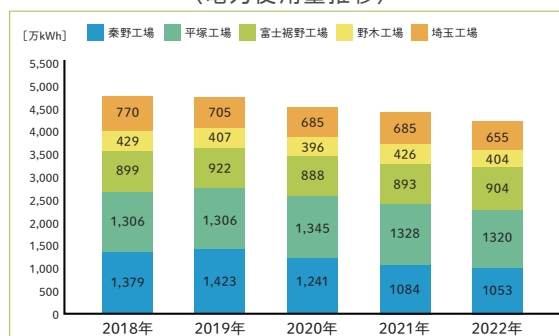


▲ポールサイン

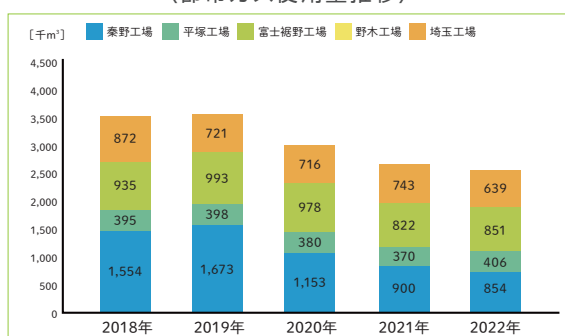
電力、都市ガス、LPガス使用量実績

不二家は各事業所・工場において、省エネルギー設備の導入及び合理化や空調設備の運転方式の改善など省エネルギー対策に努めています。2022年度のエネルギー使用量は、2021年度と比較し電力は1.5%、都市ガスは3.0%、LPガスの使用量は12.1%の減少となっています。今後も設備の整理統合や新技術の導入検討など、エネルギー使用量の削減や合理化に積極的に取り組んでいきます。

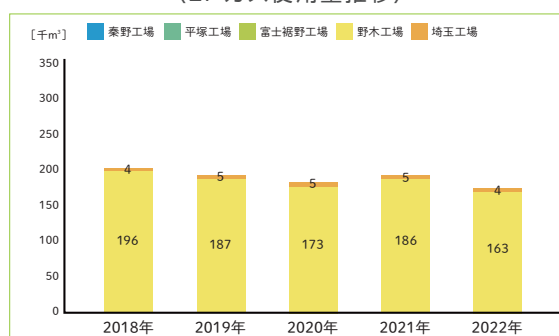
〈電力使用量推移〉



〈都市ガス使用量推移〉



〈LPガス使用量推移〉



食品ロス・廃棄物削減への取り組み

不二家では、商品の設計からお客様に届くまでに発生する食品ロスや廃棄物の削減に取り組んでいます。各工場では製造過程における食品ロス削減のため、品質の安定、安定供給を目指し、生産機械の改良、更新を行なっています。包装ラインにおいても、改良や自動化を進め、包装資材の簡素化・軽量化を進めています。

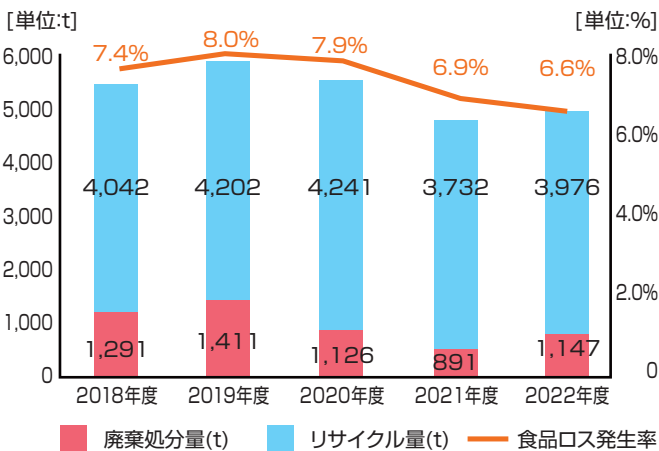
食品リサイクル率実績及び目標

2030年度の食品リサイクル率95%達成を目標に、各工場等の製造工程で発生した廃棄物は、飼料・肥料等の原材料化、燃料等への再生利用を、積極的に実施しています。2022年度では発生した食品ロス5,123t(前年比11%増加)の内、3,976tをリサイクルしました。

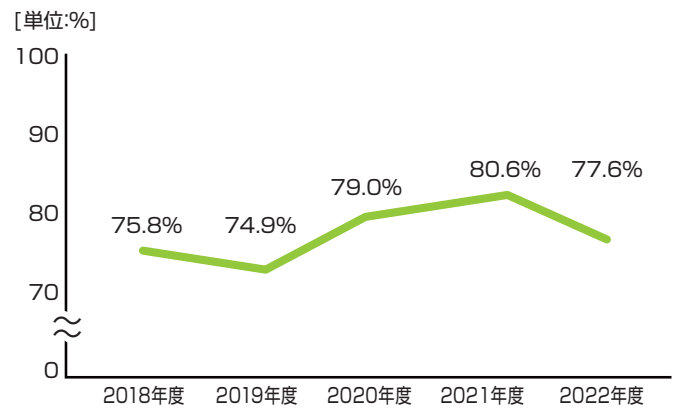
〈食品リサイクル率実績と目標〉

2022年実績	2030年目標
77.6%	95% 達成 (2030年度末までに)

〈食品ロスにおけるリサイクル量及び廃棄処分量〉

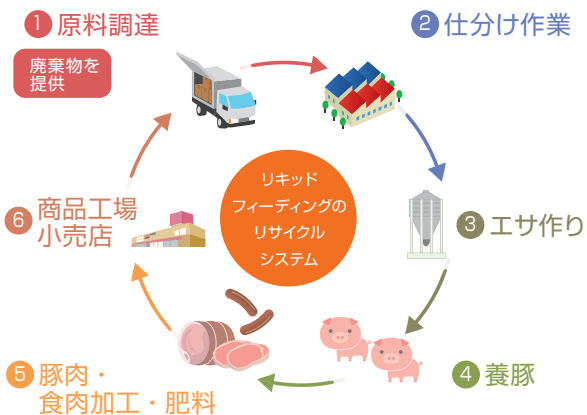


〈食品リサイクル率推移〉



食品リサイクル取り組み事例

不二家では、各工場で発生した廃棄物をプライベートグループ様が運用するリサイクルシステム『リキッドフィーディング』に提供し飼料化することで、可能な限り食品ロス削減に努めています。2022年度は、3,421tを飼料化しました。



食品ロス削減取り組み事例

不二家レストランでは、お客様が食べきれないちょうど良い量をお選びいただけるよう、小盛メニューやスモールポーションメニュー、取り分けできるメニューを取り入れています。管理面では、食材の管理を可視化し、調理、保管時でも食品ロス削減に取り組んでいます。



▲スモールポーションメニュー例 (プチデザート)



▲スモールポーションメニュー例 (ハンバーグステーキデミグラスソース)



▲取り分けできるメニュー例 (コブサラダ 2~3名様向け)



▲食材の管理例(日付管理)

環境負荷低減への取り組み

製品の容器や包装については、製品をおいしく安全にお客様にお届けするための「品質の保持」の役割を維持しながらも、省資源や廃棄時の環境負荷を低減する「環境配慮」の両側面を大切に取り組みを進めています。2022年においては、包装材料の削減(サイズダウン)や環境に配慮した包装材料の使用促進に取り組みました。

紙包材の使用

「108gミルキー袋」の外装には、2020年より紙パッケージを採用しています。キャンディ個包装もこれまでと同様の包み紙を使用し、脱プラスチックを実現しています。



環境配慮インキの使用

大袋の外装等には、再生可能な有機性資源を一部使用した植物由来のバイオマスインキの使用を拡大しています。バイオマスインキを使用することで、石油の使用量抑制につながり、カーボンニュートラルの実現にも貢献しています。

使用実例



ホームパイ



ペコちゃんのほっぺ



プラスチック包材の削減

各商品に使用する外装や個包装、トレーなどについては、プラスチック使用量削減に向けサイズや厚み、材質などを随時見直しています。2022年3月からは主力商品であるカントリーマアムブランド3品の外装サイズを縮小し、合計で年間約100tのプラスチック削減に取り組んでいます。

薄肉化実例

- ・「ピーナッツチョコレート」(外装) **約20%削減**
- ・「カントリーマアム(贅沢バニラ/贅沢チョコ)」(トレー) **約20%削減**



外装縮小実例

- ・カントリーマアム(バニラ&ココア) **約25%削減**
- ・カントリーマアムチョコまみれミドルバック **約8%削減**
- ・カントリーマアムクリスピー(バニラ&ショコラ) **約10%削減**



洋菓子店舗やレストランでの取り組み

2021年から、洋菓子店舗やレストランの資材を環境に配慮した素材に変更しています。

ポリ袋

- ・バイオマスプラスチックを含んだ袋を使用



紙袋

- ・環境に優しい水性インキと植物由来のバイオマスインキを使用



カトラリー

- ・バイオマスプラスチックを使用したスプーンとフォークの使用



FSC® 認証紙の実績

不二家では、持続可能な包装資材の活用を推進すべく、菓子商品の外箱やケーキの持ち帰り用BOXなどに、環境に配慮したFSC®※₁ 認証紙※₂の使用を拡大しています。

※₁ FSC®(Forest Stewardship Council®、森林管理協議会) 責任ある森林管理を世界に普及させることを目的とする、独立した非営利団体であり、国際的な森林認証制度を運営している組織。

※₂ 森林の管理や伐採が、環境や生態系、地域社会に配慮して適切に行われているかなどの、評価・認証を受けた原材料を使用した紙のことです。

使用実例



ルック一粒の贅匠
(ザハトルテ)



ホロル
(ショートブレッド)



持ち帰り用
ケーキBOX



保管・輸送時の環境負荷低減への取り組み

各商品の段ボールケースは、商品の外箱や品質に影響がない範囲で薄肉化しています。加えて、サイズを小さくすることでより多くの商品を積載し、配送効率の向上を図っています。保管・輸送に関わるエネルギー使用量の抑制に努めています。



各事業所における環境保全活動

河川美化活動への参加

平塚地区環境対策協議会活動の一環で、相模川の現状調査・清掃活動に平塚工場が参加しました。ごみ清掃できれいになった相模川河川敷の「イシックス馬入のお花畑」に約4,400本のチューリップの花壇を作りました。



▲チューリップの球根を植える様子



▲清掃活動の様子

アマゴの放流

2022年10月、静岡県裾野市を流れる大柄沢川の環境美化と水質保全の啓発活動の一環として、狩野川水系水質保全協議会裾野長泉支部が主催となり行ったアマゴの放流に、富士裾野工場が参加しました。当社のほかに、裾野市内にある保育園の園児たちや、同支部の会員企業が参加し、200匹のアマゴを放流しました。



▲アマゴの放流の様子



▲河川美化活動に参加

工場構内外の整備活動

泉佐野食品コンビナート協会主催の地域周辺の清掃活動(クリーン・ぐりーん作戦)に泉佐野工場が参加しました。コンビナート協会加盟企業40社が各工場の外周道路を中心に清掃を行いました。



▲活動の様子

不二家ファミリー文化研究所の活動

黒姫「ペコちゃんの森」

不二家ファミリー文化研究所は、自然環境保護活動の一環として、長野県黒姫にある荒廃した森を購入し、その森を整備保護していただける団体にトラスト活動として寄贈しました。また寄贈先※のご理解を得て、その森を「ペコちゃんの森」と命名し、継続的に整備活動への支援・参加をしています。

この2,000坪強の小さな森は、熊笹や灌木の覆い茂った藪そのものでしたが、数年の手入れを経て徐々に明るさを取り戻し、2012年にブナやミズナラを植樹しました。今後も定期的に不要な下草を伐採して地面に日光を導き、ブナやミズナラをはじめとする木や草が生い茂る明るい森を作っていくのが目標です。

自然に手を加えることによって、森にどのような変化が生じるのかを観察するのも、森作りの仕事のひとつです。私たちは、徐々に変化している「ペコちゃんの森」の様子を、定期的にウェブサイト内にてご報告しています。この森を通して、自然の力と人間の営みについて学びながら、森林の再生と保護、環境教育活動を継続して行っています。

※寄贈先は、環境保護団体「CCC自然・文化創造会議/工場(議長 倉本 聡氏)」です。

従業員による「ペコちゃんの森」整備活動

不二家ファミリー文化研究所では、CCC自然・文化創造会議/工場様のご協力のもと、本社や支店・工場など、さまざまな部署の社員が有志で参加し、「ペコちゃんの森」の森林整備を行っています。昨年に引き続き、2022年7月に感染症対策を万全に行った上で少人数にて実施しました。



▲作業の様子



▲森についての説明を受ける参加者

Voice!

コロナ禍により小規模で活動をしていたこともあり、入社以来ペコちゃんの森の整備活動へ参加するタイミングがありませんでしたが、今回先輩と同期に声を掛けていただき、入社3年目にして初めて参加することができました。

実際に参加し体験することで、この活動の意味合いや自分自身が未来を担うこれからの子ども達に何が残せるのかなどを考えるきっかけとなり、認識が深まるとともにひと回り成長できたと思います。

普段の業務では関わり合いのない他事業部・営業所の方々とも話す機会ができ、今後の業務に繋がる貴重な経験ができたと感じています。私は内勤業務がメインで、毎日ほぼ同じ景色の中で仕事をしているため、山の中で自然を感じて歩くことや新鮮な空気を吸うこと、カマを持って草を刈ることなど、普段とは違うさまざまな体験を通じ、とてもリフレッシュすることができました。

次回、成長したブナの木に会うときは、私も負けないくらい成長して臨みたいと思います。

洋菓子事業部 広域営業部 納品課 R.T



経営マネジメント

不二家は、コーポレート・ガバナンスの強化・充実を経営の重要課題の一つとして位置づけ取り組んでいます。「社是」および「経営理念」にもとづき、不断的努力により新しい価値と需要を創造するとともに、徹底した改善に絶え間なく取り組み、収益を確保することで、当社の持続的成長と中長期的な企業価値の向上を目指しています。

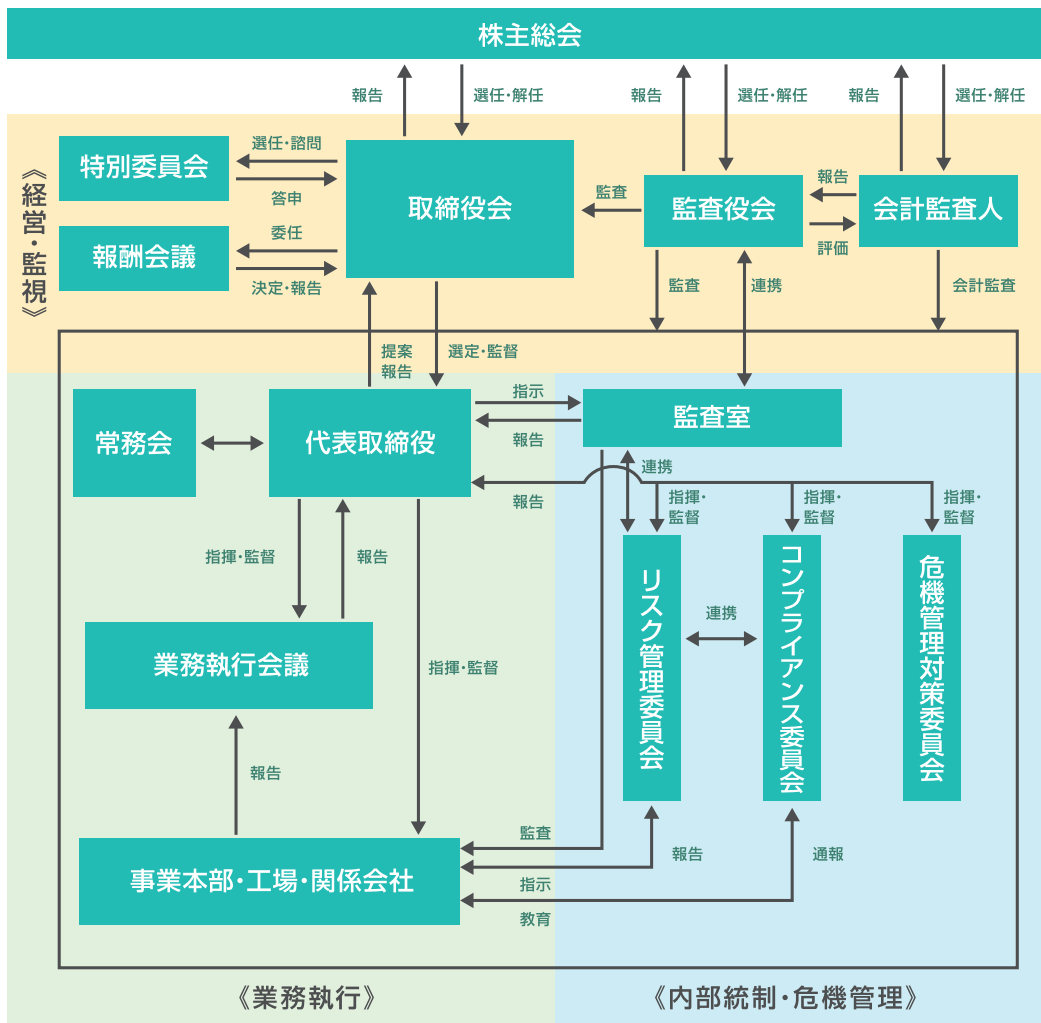
コーポレート・ガバナンスと内部統制

コーポレート・ガバナンス

企業価値向上を目指すためには、株主をはじめとするすべてのステークホルダーとの健全な協働関係を構築することが不可欠であると考え、企業経営の透明性と効率性の向上を図るとともに、コンプライアンス及びリスク管理の強化を推進し、コーポレート・ガバナンスのさらなる充実・強化に取り組んでおります。

業務執行については、取締役会が法令及び定款に則り重要な業務執行を決定し、取締役が代表取締役の指揮・監督のもと、取締役会で定められた担当及び職務の分担に従い、職務を遂行しております。また、当社は、職務執行体制の充実強化を図るため、執行役員制度を採用し、本社の本部長、部長及び主力工場の工場長など主要な職位にある者を執行役員に任命し、職務執行の責任と権限を付与しております。職務執行に対する監視の仕組みといたしましては、取締役会が取締役及び執行役員の職務執行を監督するとともに、監査役が取締役及び執行役員の職務執行を監督しております。

〈コーポレート・ガバナンス体制(模式図)〉



2022年度内部統制システムの整備・運用状況

企業会計審議会の示す内部統制の基本的枠組みに準拠して、「内部統制システムの整備に関する基本方針」を制定及び随時見直しを図り、内部統制の整備・運用を行っています。

2015年5月1日に「会社法の一部を改正する法律」(平成26年法律第90号)及び「会社法施行規則等の一部を改正する省令」(平成27年法務省令第6号)が施行されたこととともない、2015年7月29日開催の取締役会において「内部統制システムの整備に関する基本方針」の改定を決議し、改定しました。それにもとづき、企業集団の業務の適正と監督及び監査の実効性を確保するため、グループ会社すべての会社に派生するリスクに対して、今まで以上にあらゆる可能性を認識し対応できるよう体制を強化し、内部統制システムを運用しています。

また、財務報告に係る内部統制についても、内部統制の基本的枠組みに準拠して整備運用していますが、財務報告への影響を勘案し、重要な虚偽記載の発生可能性がある事象に関しては個別に対応しています。

2022年度におきましては、再度システムを見直し、財務報告の信頼性を高め、財務報告の信頼性に重要な影響を及ぼす統制上の要点を選定し、その中で自己点検や独立的評価を適正に実施しました。

今後も、業務の適正を確保するために、あらゆるリスクを想定し体制をさらに強化することにより、内部統制の有効性を確保し企業としての社会的責任を果たしてまいります。

リスクマネジメント

リスクマネジメント体制

不二家は食品企業として、常に「食の安全」を最優先の課題とし、食品事故の未然防止と製品の安全性を向上させるため、AIB(American Institute of Baking)国際検査統合基準による指導監査システムを導入するなど、徹底した食品安全管理体制の確立を図っています。

そのほか、事業活動に重大な影響を及ぼす恐れのある「経営リスク」「事故・災害(環境)リスク」などに対して、事前にリスクの特定・分類・分析・評価を行い、適切に対応するために「リスク管理委員会」を設置し、迅速かつ最善の対応を図る体制を整備しています。また、必要に応じて、顧問弁護士などの専門家に助言・指導を求めています。

重大な製品事故や職場での災害リスクが顕在化した場合や、顕在化が予想される場合には、社長が委員長を務める「危機管理対策委員会」を召集し、迅速な対応を図る危機管理体制を整備しています。

東日本大震災を契機に、本社・工場では防災意識の向上と避難訓練を実施することはもちろんのこと、営業・工場の主要拠点17ヶ所に衛星電話を設置し、緊急時の連絡体制を整備しています。

情報セキュリティ対策

情報資産を過失、事故、災害、犯罪などの脅威から守り、社会とお客様の信頼に応えるため、情報セキュリティ管理規程を定めています。業務遂行上必要な情報資産について、適切なセキュリティ対策を講じ、不正アクセス、漏洩、改ざん、紛失・毀損などが発生しないよう予防を図っています。

問題が顕在化した際には、速やかに是正するように組織と体制を定め、その役割と責任者を明確にしています。また、関連諸規程並びに情報セキュリティ体制の評価と見直しを定期的・継続的に行い、適切に管理しています。

コンプライアンス

コンプライアンスを経営の基盤および重要課題と考え、公正かつ誠実な企業活動を行い、社会に対する責任を積極的に果たしています。

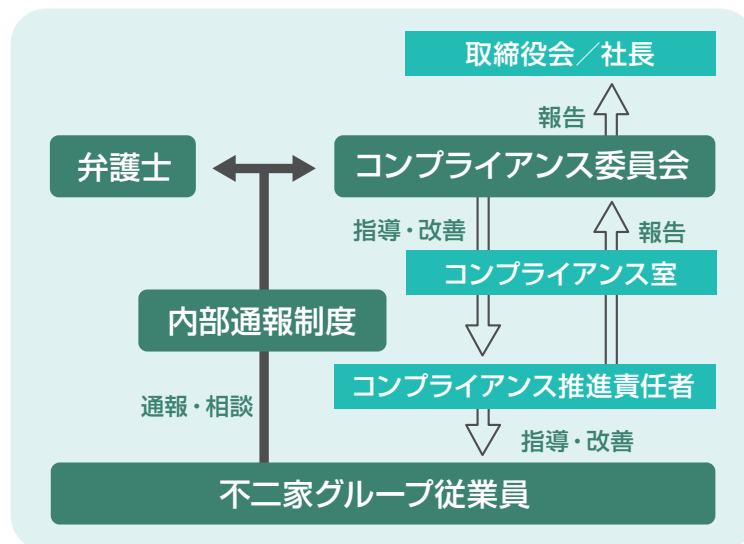
社会からの要請に応えるべく、コンプライアンスを「単なる法令遵守にとどめず、社内規程・ルールを守ることに加え、社会倫理にも適合していくこと」と捉え、企業価値向上を目指しています。

コンプライアンス推進体制

コンプライアンス活動を不二家グループ全体で徹底、推進していくため、取締役を委員長とする「コンプライアンス委員会」を設置し、全社的な方針の制定、事故発生時の原因調査と再発防止策の策定などを行い、その結果を必要に応じて社長、取締役会に報告及び提案しています。コンプライアンス室ではコンプライアンスについての意識付けや啓蒙教育を継続的に実施しています。

また、内部通報(コンプライアンス・ヘルプライン)制度を導入し、当グループの社会的信頼の維持及び業務運営の公正性の確保に努めています。

〈コンプライアンス推進体制図〉



2022年度のコンプライアンス教育

従業員のコンプライアンスマインドの醸成・啓蒙は、企業価値向上のための最重要テーマと位置づけ、コンプライアンス教育に積極的、継続的に取り組んでいます。2022年度も昨年に続き新型コロナウイルス感染症の影響から集合教育が行いにくい状況となり、密を避けた少人数教育、オンラインシステムや動画配信を活用し実施しました。内容は、コンプライアンス意識の維持・向上や事例共有、2007年の一連の問題に留まらず、長時間労働やハラスメント、アンガーマネジメントなど社会情勢を反映させた内容としました。また、公益通報者保護法などの法改正について教育し、意識向上に努めました。

内部通報(コンプライアンス・ヘルプライン)制度

不二家グループ各社内の法令違反などの未然防止と早期発見を目的として、内部通報(コンプライアンス・ヘルプライン)制度を導入しています。

この制度は、不二家グループ各社内にある事案や行動が、法令・社内規程・ルール等に違反するかどうかなど、コンプライアンスに関する相談窓口としても機能しています。

この制度を従業員が活発に利用できるよう、全従業員に企業理念や連絡先が入ったコンプライアンスヘルプラインカードを配布しているほか、外部弁護士への連絡窓口を設けることで、通報や相談がしやすい環境作りにも努めています。

会社概要 (2022年12月31日現在)

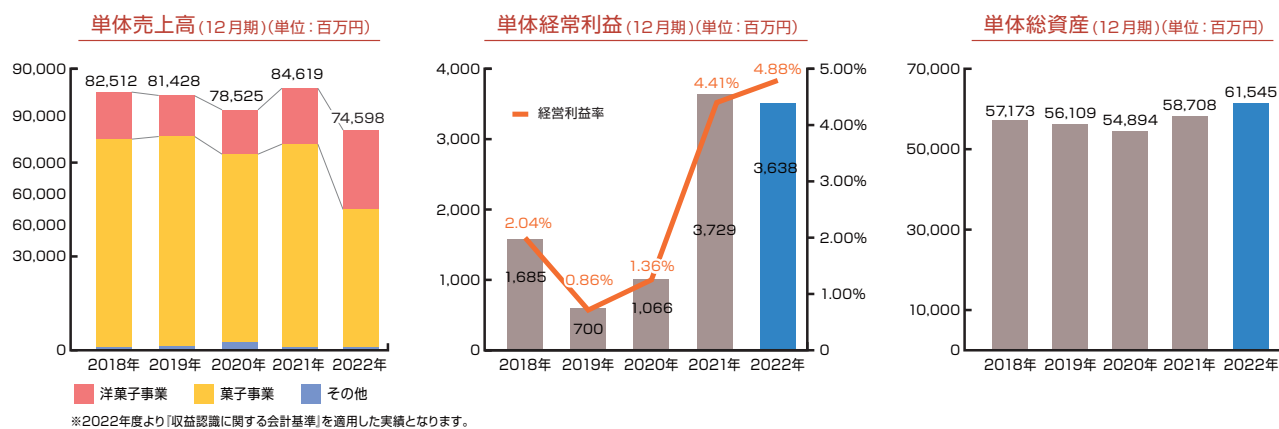
- 社名(商号)
株式会社不二家(FUJIYA CO., LTD.)
- 代表者
代表取締役会長 山田 憲典
代表取締役社長 河村 宣行
- 本社所在地
〒112-0012 東京都文京区大塚2-15-6
- 創業
1910年(明治43年)11月16日
- 設立
1938年(昭和13年)6月30日
- 資本金
18,280百万円
- 従業員数
正社員1,299名

事業内容

洋菓子事業	菓子事業	その他事業
ケーキ、デザート、アイスクリームなど 洋菓子類の製造販売、喫茶店及び飲食店の経営	チョコレート、キャンディ、クッキーなどの 製造販売	業務内容 ・キャラクターライセンス事業 ・不二家システムセンターの事務受託業務 ・不動産の賃貸、管理など
		

※各商品などの詳細は、不二家ウェブサイトにてご覧いただけます。 不二家ウェブサイトURL <https://www.fujiya-peko.co.jp/>

業績推移



事業所・工場

- 営業部・支店 東京、大阪、名古屋、福岡、仙台、札幌など全国の主要地
- 店舗 東京、横浜、名古屋、大阪、福岡、札幌など全国に954店舗
- 工場 秦野工場／平塚工場／富士裾野工場／吉野ヶ里工場／野木工場／埼玉工場
泉佐野工場／札幌工場／山形工場

主要関係会社

- 山崎製パン株式会社
- 株式会社不二家福島
- 日本食材株式会社
- 株式会社ダロワイヨジャパン
- 不二家乳業株式会社
- 株式会社不二家システムセンター
- 株式会社不二家神戸
- 不二家(杭州)食品有限公司
- 不二家テクノサービス株式会社
- B-R サーティワンアイスクリーム株式会社
- 不二家ベトナム
- テクノ保険サービス株式会社



株式会社 不二家

〒112-0012 東京都文京区大塚 2-15-6
ウェブサイト <https://www.fujiya-peko.co.jp/>



古紙パルプ配合率60%再生紙を使用

■お問い合わせについて

お便りの場合：〒112-0012 東京都文京区大塚2-15-6 株式会社不二家 広報IR部
Eメールの場合：不二家ウェブサイト内のお問い合わせ専用フォーム内をご利用ください。



© FUJIYA CO., LTD.

本報告書記載記事の
無断転載・複製を禁じます。